

第1回 宮城県教育振興審議会

# 宮城県の教育の現状等について

平成27年11月26日(木)

# ～ 目 次 ～

## I 宮城県の姿

- (1) 人口の推移 . . . . . P 3
- (2) 将来人口の推移 . . . . . P 7
- (3) 産業構造 . . . . . P 9

## II 本県教育の現状と課題

- (1) 教育環境 . . . . . P 10
- (2) 学力 . . . . . P 15
- (3) 体力・運動能力等 . . . . . P 19
- (4) いじめ・不登校 . . . . . P 22
- (5) 高等学校卒業生の進路 . . . . . P 24
- (6) 特別支援教育 . . . . . P 28
- (7) ICT教育 . . . . . P 29
- (8) 家庭・地域の教育 . . . . . P 31
- (9) 生涯学習・文化芸術 . . . . . P 36
- (10) スポーツ . . . . . P 40

## III 本県の基本計画

- (1) 計画の概要 . . . . . P 43
- (2) 主な取組 . . . . . P 46

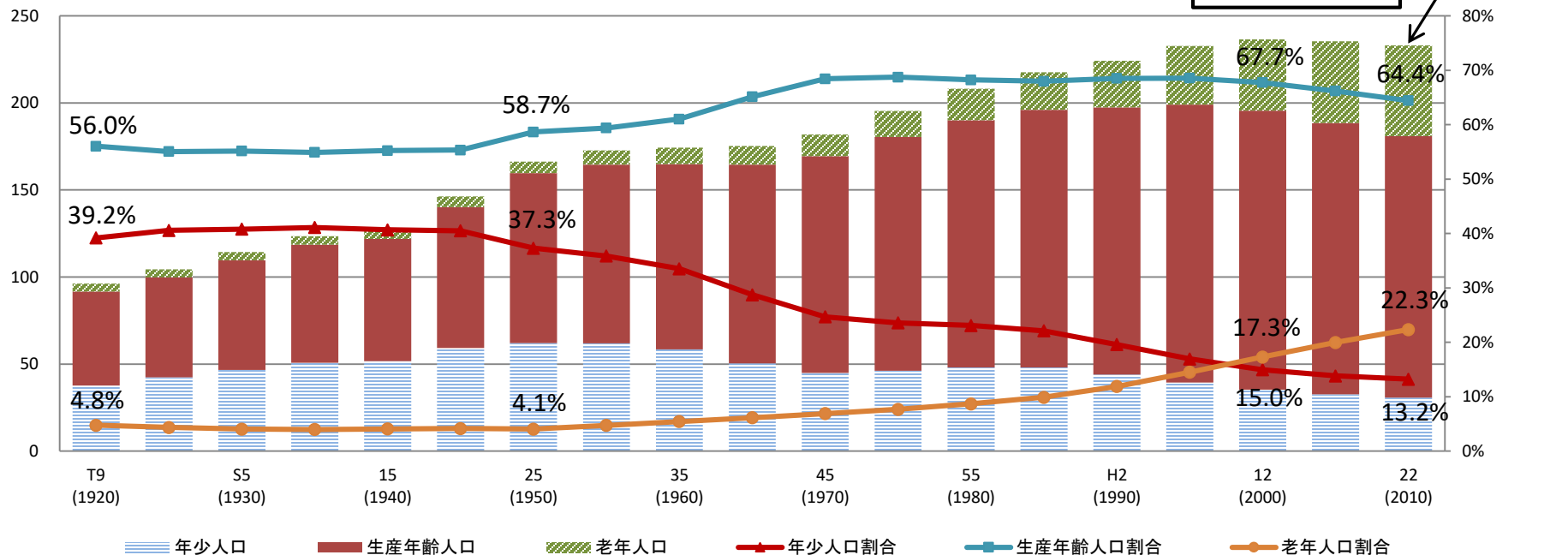
# I 宮城県の姿

## (1) 人口の推移

### ① 宮城県における人口の推移

- 宮城県の人口は、平成15年(2003年)推計人口の237万1,683人をピークに減少している。
- 平成22年(2010年)の国勢調査による宮城県の人口は234万8,165人であり、老年人口(65歳以上)は、1990年代以降急速に増加し、平成12年(2000年)の国勢調査時に年少人口(14歳以下)の割合を超えている。

【単位:万人】

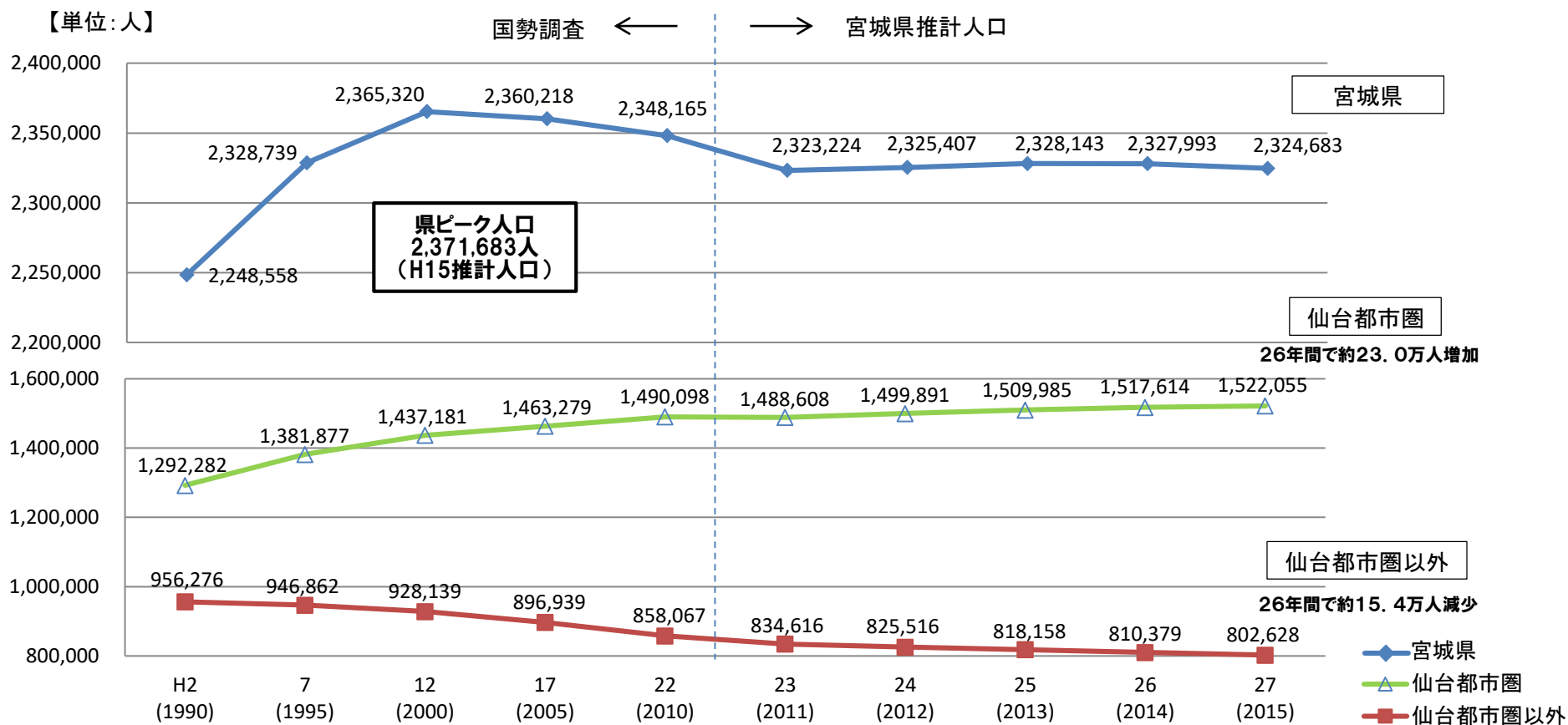


# I 宮城県の姿

## (1) 人口の推移

### ② 仙台都市圏と仙台都市圏以外の人口の推移

- 仙台都市圏の人口は増加傾向にあり，東日本大震災発生後も増え続けている。
- 仙台都市圏以外の広域圏の人口は，一貫して減少傾向にある。



資料：総務省「国勢調査」，宮城県「宮城県推計人口」

# I 宮城県の姿

## (1) 人口の推移

### ③ 沿岸被災市町の人口の増減

- 東日本大震災発生後、多くの被災市町では人口減少が大幅に進んでいる。
- 仙台市やその近郊においては、人口増加が見られるところもあるが、その要因は、復興需要の影響等によるものと推測される。

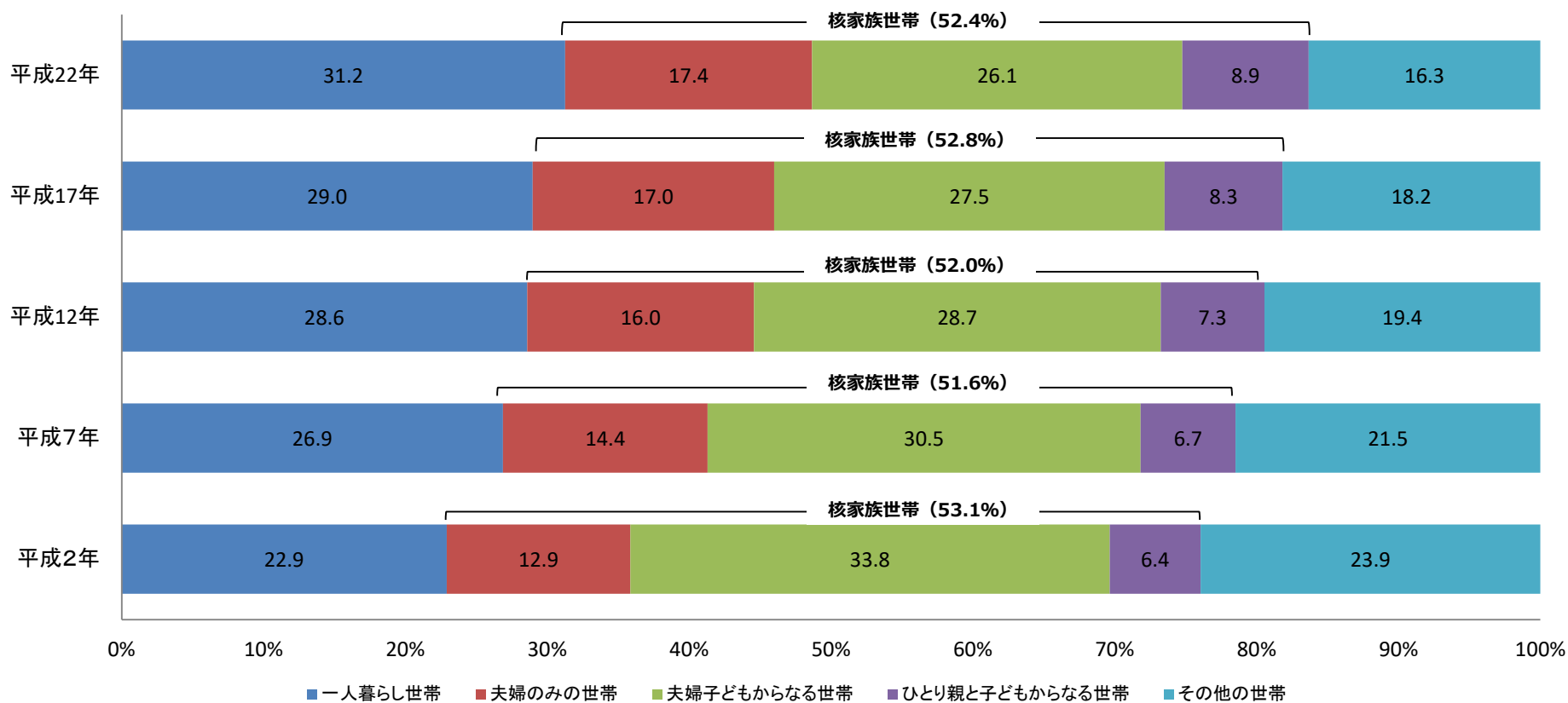
	H23.3.1人口 (人)	H27.10.1人口 (人)	増減 (人)	増減率 (%)
気仙沼市	73,154	65,372	△ 7,782	△ 10.64
南三陸町	17,378	13,482	△ 3,896	△ 22.42
石巻市	160,394	145,760	△ 14,634	△ 9.12
女川町	9,932	6,631	△ 3,301	△ 33.24
東松島市	42,840	39,759	△ 3,081	△ 7.19
松島町	15,014	14,499	△ 515	△ 3.43
利府町	34,279	35,748	1,469	4.29
塩竈市	56,221	54,168	△ 2,053	△ 3.65
七ヶ浜町	20,353	18,709	△ 1,644	△ 8.08
多賀城市	62,990	62,314	△ 676	△ 1.07
仙台市	1,046,737	1,076,030	29,293	2.80
名取市	73,603	77,041	3,438	4.67
岩沼市	44,160	44,162	2	0.00
亘理町	34,795	33,271	△ 1,524	△ 4.38
山元町	16,608	12,495	△ 4,113	△ 24.77
沿岸計	1,708,458	1,699,441	△ 9,017	△ 0.53
沿岸計 (仙台市除く)	661,721	623,411	△ 38,310	△ 5.79
内陸計	638,395	625,242	△ 13,153	△ 2.06
県計	2,346,853	2,324,683	△ 22,170	△ 0.94

# I 宮城県の姿

## (1) 人口の推移

### ④ 世帯構成の変化(一般世帯の家族類型の推移)

○ 核家族世帯は、ほぼ横ばいであるが、「一人暮らし世帯」は増加傾向にあり、三世帯同居などの「その他の世帯」は減少傾向にある。



資料:総務省「国勢調査」

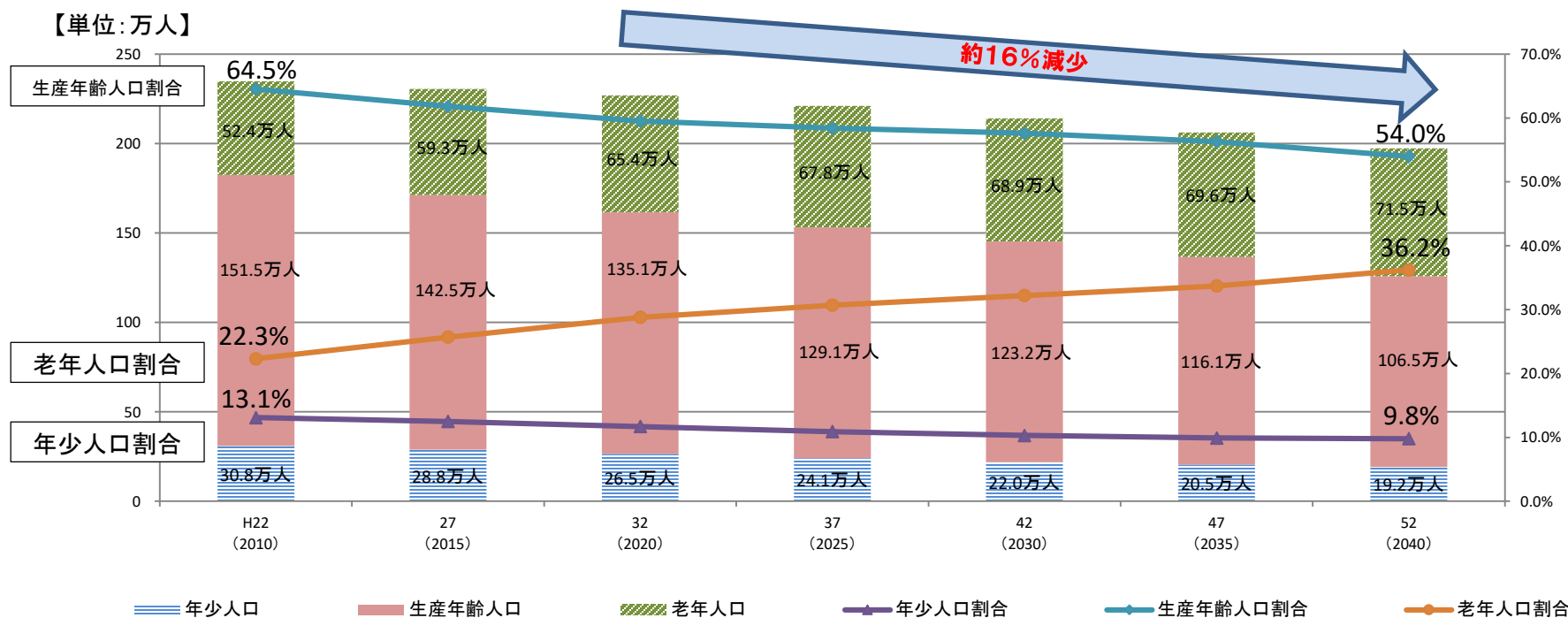
# I 宮城県の姿

## (2) 将来人口の推移

### ① 宮城県の将来人口の推移(2010年⇒2040年)

- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年の宮城県の人口は、約197万3千人になると見込まれている。
- 生産年齢人口(15～64歳)及び年少人口(14歳以下)は、今後更に減少する一方、老年人口(65歳以上)は増加し、平成52年(2040年)の高齢化率は36.2%に達すると見込まれている。

【単位:万人】



資料: 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」

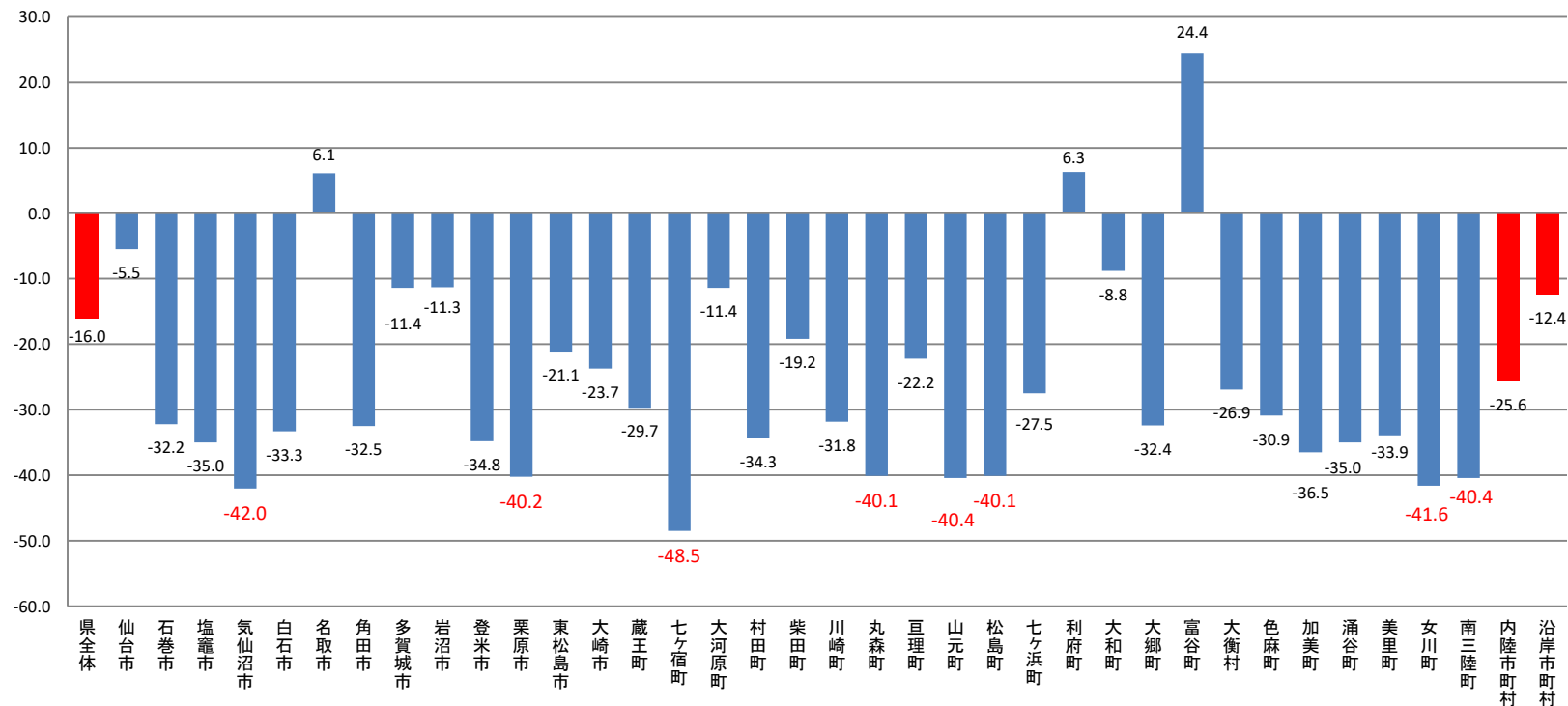
# I 宮城県の姿

## (2) 将来人口の推移

### ② 市町村別の人口増減率(2010年⇒2040年)

- 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、名取市、利府町及び富谷町を除き、今後人口が減少していくと見込まれている。
- 8市町で人口減少率が40%を越えるという推計結果となっている。(減少率30%以上は20市町)

【単位:%】



資料:国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」



# I 宮城県の姿

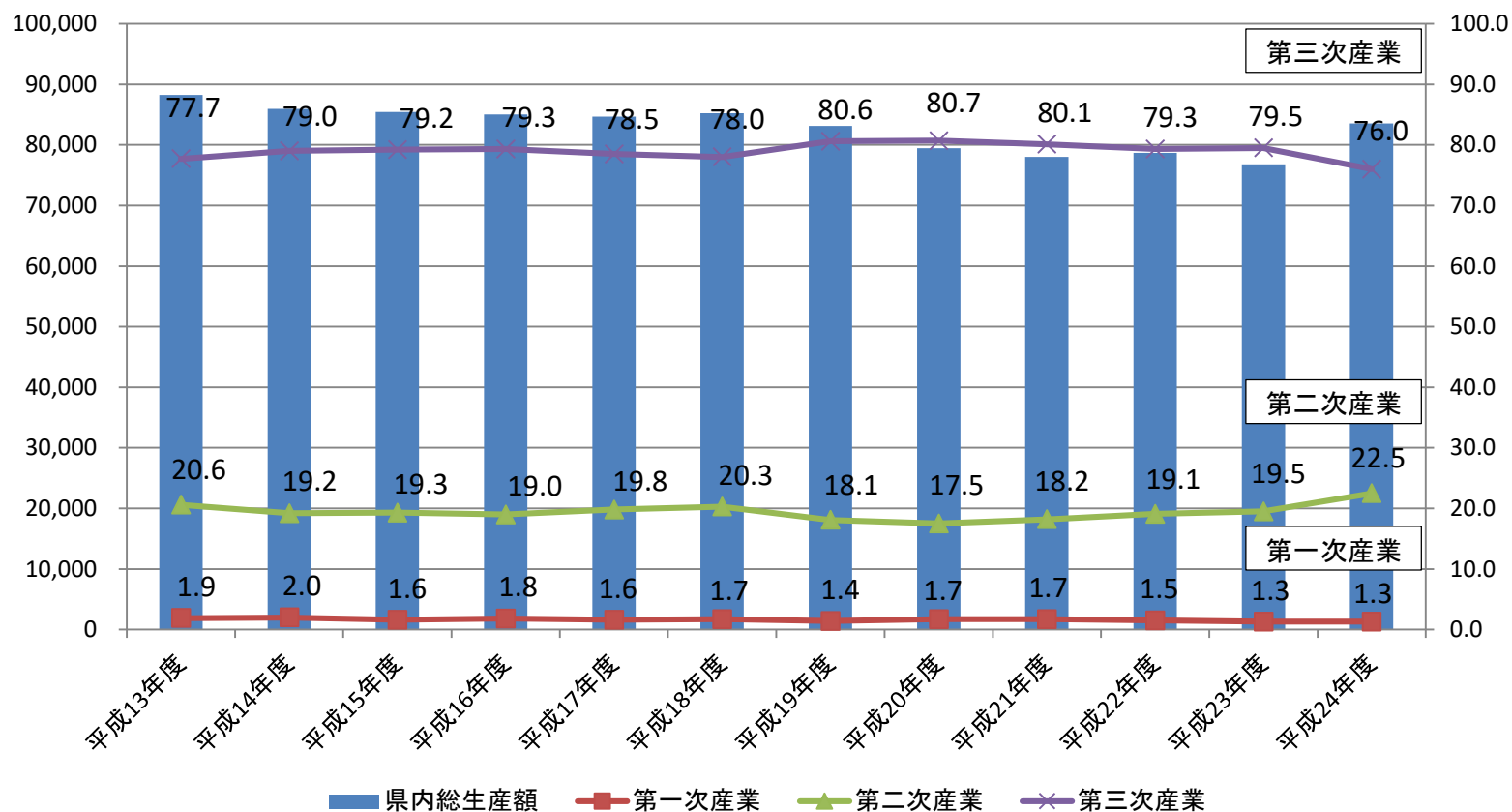
## (3) 産業構造

- 全国と比べ、第二次産業の割合が低い一方、農業・水産業を中心とする第一次産業や、卸・小売業、運輸・通信業を中心とする第三次産業の割合が高い。
- 近年は、製造業の誘致・育成が進むとともに、復旧・復興事業に伴い第二次産業の割合が伸びてきている。

【単位:億円】

県内総生産額(名目)及び産業別割合

【単位:%】



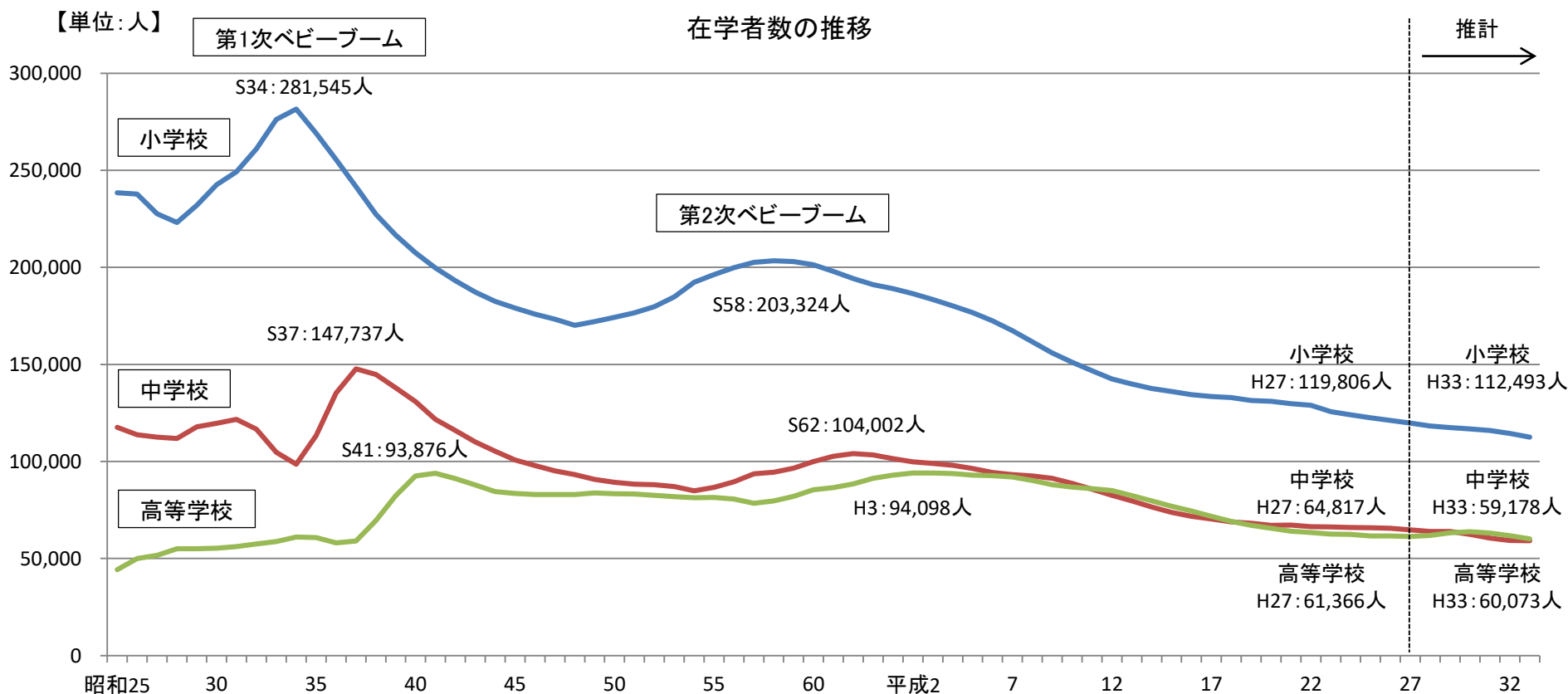
資料:宮城県「平成24年度宮城県民経済計算年報」

# II 本県教育の現状と課題

## (1) 教育環境

### ① 在学者数

○ 宮城県の在学者数は、第1次及び第2次ベビーブーム世代が学齢期であった時期に増加したものの、少子化を反映し、大きく減少してきている。

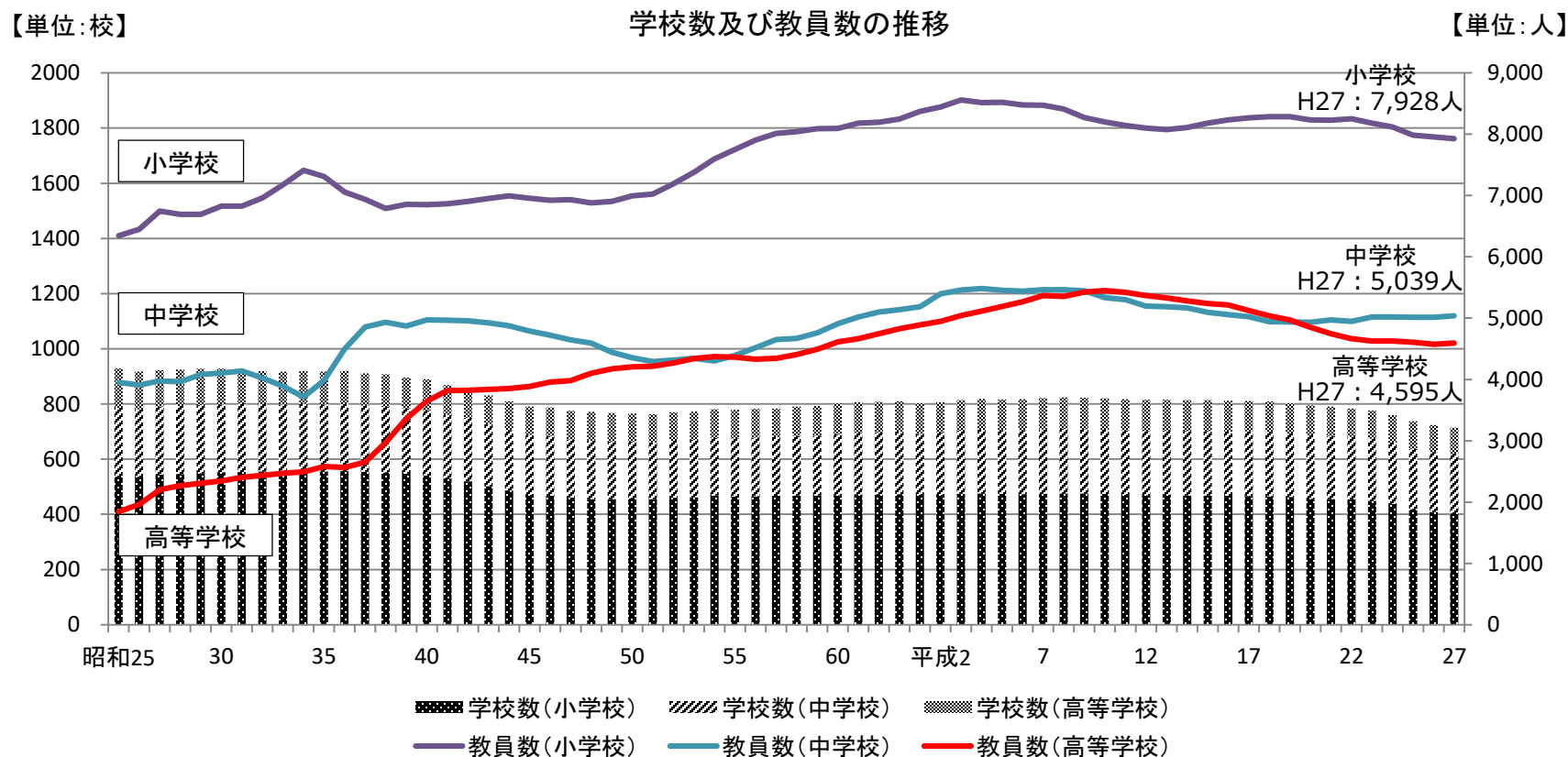


# II 本県教育の現状と課題

## (1) 教育環境

### ② 学校数及び教員数

○ 宮城県は近年、減少傾向にある。一方、教員数は、各校種ともに横ばいの傾向にある。



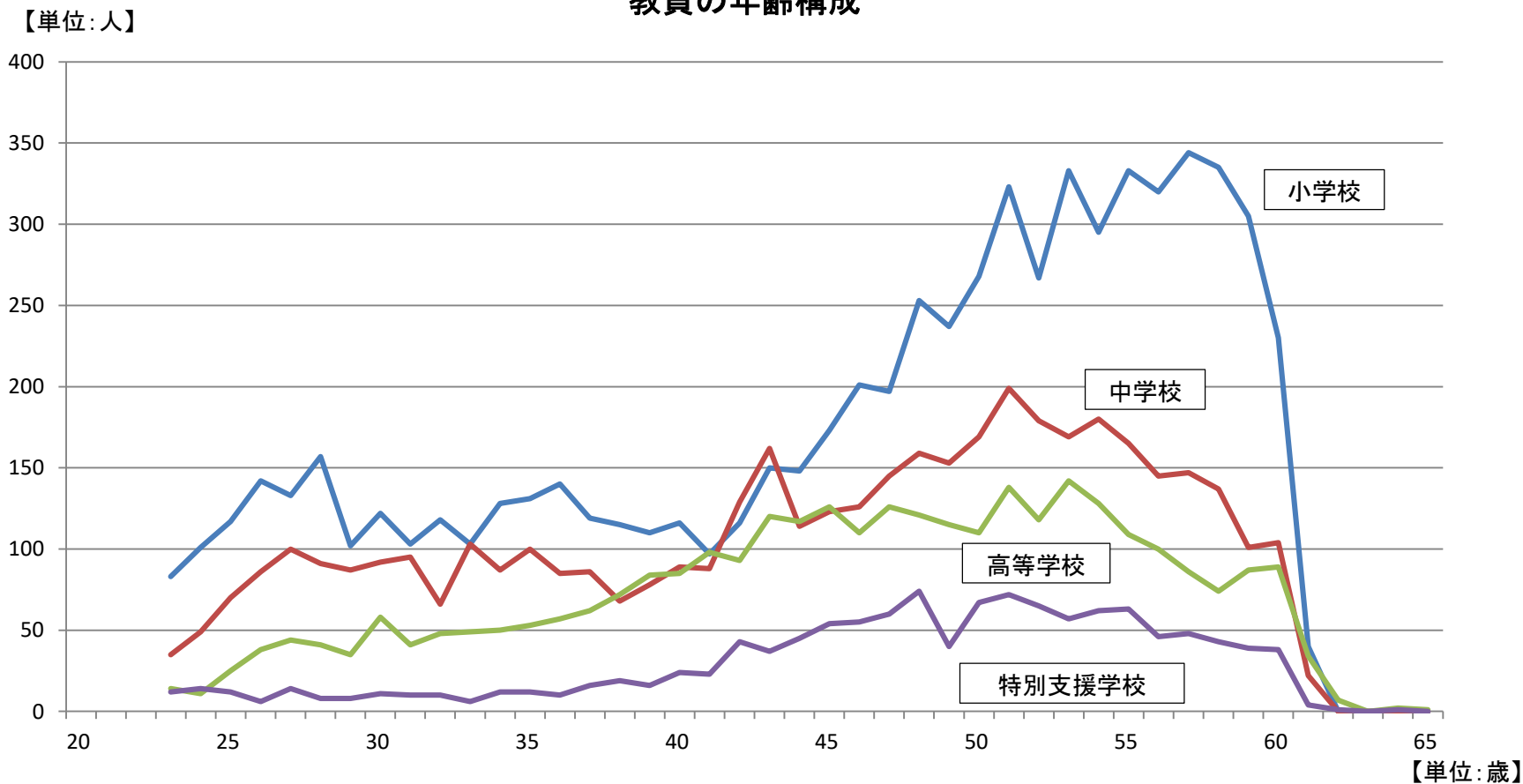
# II 本県教育の現状と課題

## (1) 教育環境

### ③ 教員の年齢構成

- 今後、定年退職者が増加することから、質の高い新規採用者の確保に加え、教員の資質向上を図る必要がある。

教員の年齢構成



# II 本県教育の現状と課題

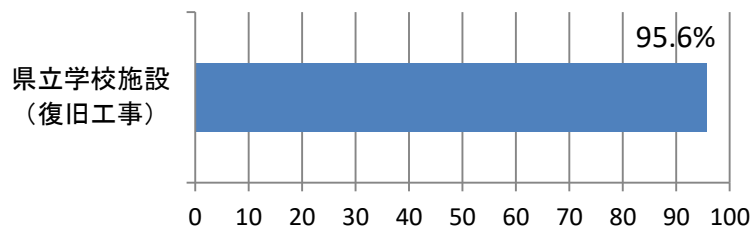
## (1) 教育環境

### ④ 東日本大震災の影響(教育分野)

- i 人的被害等(平成27年4月30日現在)
  - ・死者 346人(幼児・児童・生徒 327人, 教職員 19人)
  - ・行方不明者 35人(幼児・児童・生徒 35人)
- ii 施設被害額(調査継続中)
  - ・約1,960億1千万円(平成27年9月10日現在)
- iii 震災孤児数(平成27年7月31日現在)
  - ・139人
- iv 震災遺児数(平成27年7月31日現在)
  - ・925人
- v 東日本大震災みやぎこども育英基金  
支援金・奨学金(平成27年7月31日現在)
  - ・給付実人数 1,064人
  - ・給付件数 8,447件
  - ・給付金額 11億2,202万円

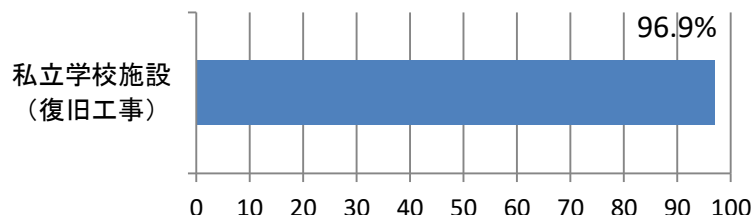
#### ● 県立学校施設(復旧工事)

- ・被災施設数 91校 → 復旧率 約96%
- ・復旧済施設数 87校(平成27年10月31日現在)



#### ● 私立学校施設(復旧工事)

- ・被災施設数 162校 → 復旧率 約97%
- ・復旧済施設数 157校(平成27年10月31日現在)



#### ● 仮設校舎を使用している小・中学校 (平成27年11月9日現在)

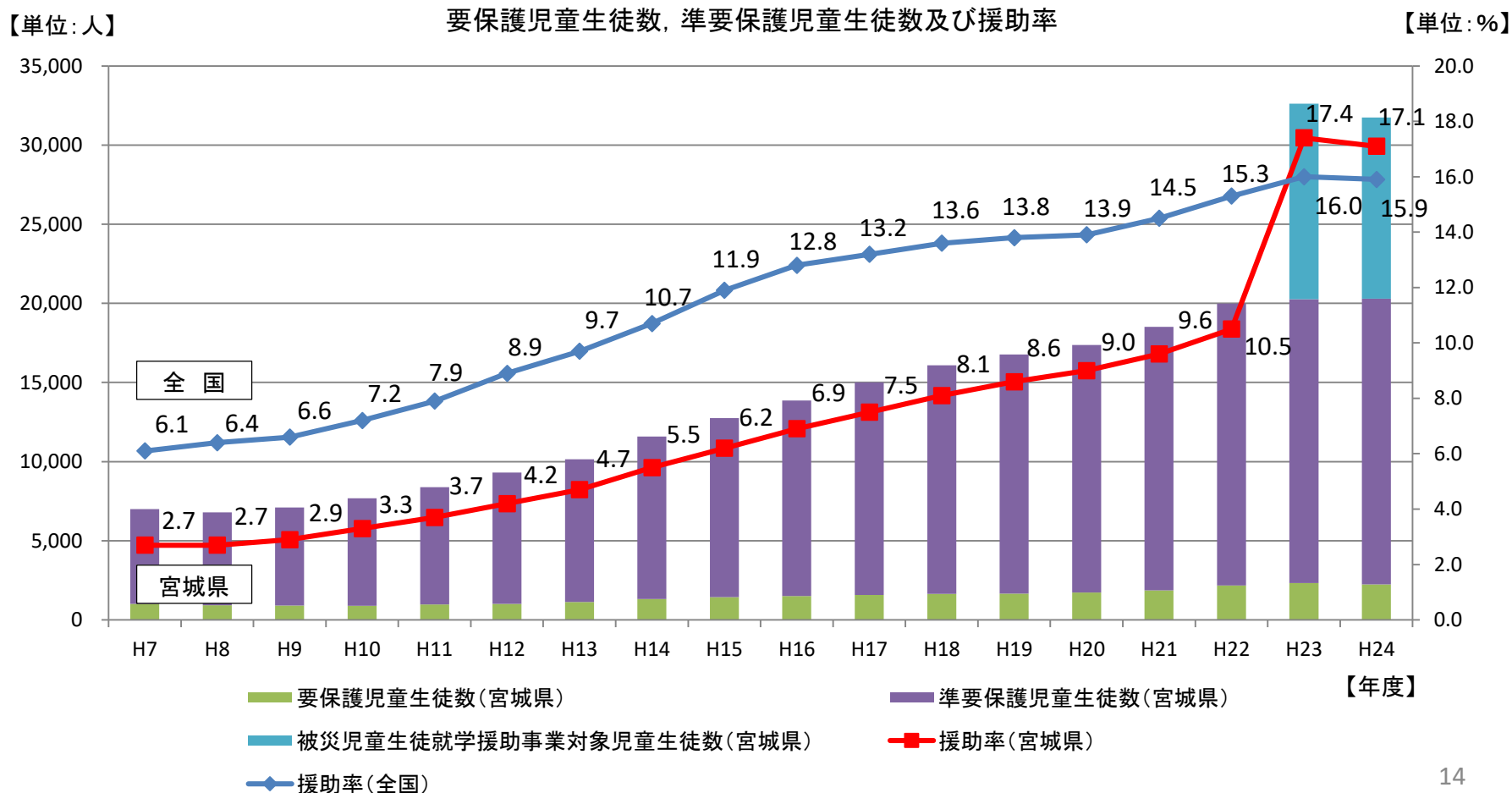
- ・小学校 5校(山元町立山下第二小学校,  
石巻市立大川小学校, 雄勝小学校,  
東松島市立野蒜小学校, 鳴瀬桜華小学校)
- ・中学校 3校(名取市立閑上中学校, 石巻市立渡波中学校,  
東松島市立鳴瀬未来中学校)

# II 本県教育の現状と課題

## (1) 教育環境

### ⑤ 子どもの貧困

○ 宮城県の要保護及び準要保護児童生徒数は増加傾向にある。また、震災後、被災児童生徒就学援助事業対象児童生徒数を加えた援助率は、全国平均を超えている。



資料：文部科学省「就学援助実施状況等調査」

# II 本県教育の現状と課題

## (2) 学力

### ① 小学校(平均正答率)

○ 公立小学校6年生の平均正答率は、国語A及び国語Bで全国平均を上回る年度があったものの、国語、算数ともに全国平均を下回る傾向が続いている。

全国学力・学習状況調査 平均正答率(公立小学校6年生)

(単位:%)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
国語A(知識)								
宮城県	80.6	64.2	67.4	83.4	81.7	60.8	74.2	69.6
全国	81.7	65.4	69.9	83.3	81.6	62.7	72.9	70.0
差	▲ 1.1	▲ 1.2	▲ 2.5	0.1	0.1	▲ 1.9	1.3	▲ 0.4
国語B(活用)								
宮城県	61.0	49.2	49.8	77.7	55.9	47.6	54.3	63.9
全国	62.0	50.5	50.5	77.8	55.6	49.4	55.5	65.4
差	▲ 1.0	▲ 1.3	▲ 0.7	▲ 0.1	0.3	▲ 1.8	▲ 1.2	▲ 1.5
算数A(知識)								
宮城県	81.1	71.3	77.5	73.8	72.7	76.3	77.3	74.1
全国	82.1	72.2	78.7	74.2	73.3	77.2	78.1	75.2
差	▲ 1.0	▲ 0.9	▲ 1.2	▲ 0.4	▲ 0.6	▲ 0.9	▲ 0.8	▲ 1.1
算数B(活用)								
宮城県	61.4	50.4	54.0	47.8	58.1	56.5	56.8	42.7
全国	63.6	51.6	54.8	49.3	58.9	58.4	58.2	45.0
差	▲ 2.2	▲ 1.2	▲ 0.8	▲ 1.5	▲ 0.8	▲ 1.9	▲ 1.4	▲ 2.3

# II 本県教育の現状と課題

## (2) 学力

### ② 小学校(都道府県別平均正答数)

○ 平成27年度の平均正答数は、国語、算数ともに全国平均を下回っており、特に「活用」を主とするB問題において差が広がっている。

平成27年度全国学力・学習状況調査 都道府県別平均正答数(公立小学校6年生)

国語A(知識)		国語B(活用)		算数A(知識)		算数B(活用)	
正答数	都道府県	正答数	都道府県	正答数	都道府県	正答数	都道府県
10.6	秋田	6.9	秋田	13.0	秋田	6.7	秋田
10.5	青森	6.6	石川	12.8	石川	6.5	石川, 福井
10.4	石川	6.5	福井	12.7	福井	6.2	青森, 東京, 富山, 京都, 愛媛
10.3	新潟, 福井, 広島, 高知	6.3	青森, 富山, 広島, 香川	12.6	青森, 富山	6.1	兵庫, 広島, 香川
10.2	岩手, 富山	6.1	岩手, 静岡, 京都, 山口, 愛媛, 沖縄	12.4	東京, 新潟, 静岡, 京都, 広島, 沖縄	6.0	山口
10.1	東京, 京都, 山口, 香川, 宮崎	6.0	茨城, 東京, 新潟, 長野, 鳥取, 徳島, 高知, 大分	12.3	山口, 高知, 大分	5.9(平均)	茨城, 千葉, 長野, 静岡, 愛知, 鳥取, 徳島, 熊本
10.0	茨城, 群馬, 千葉, 静岡, 鳥取, 大分	5.9(平均)	福島, 岐阜, 三重, 兵庫, 福岡, 鹿児島	12.2	鹿児島	5.8	神奈川, 新潟, 奈良, 和歌山, 岡山, 高知, 大分, 沖縄
9.9	山形, 福島, 長野, 奈良, 佐賀	5.8	群馬, 埼玉, 千葉, 神奈川, 山梨, 奈良, 和歌山, 岡山, 佐賀, 長崎, 熊本, 宮崎	12.1	岩手, 茨城, 奈良, 和歌山, 熊本	5.7	岐阜, 三重, 大阪, 福岡, 佐賀, 宮崎
9.8(平均)	兵庫, 愛媛, 福岡, 熊本	5.7	北海道, ◎宮城, 山形, 栃木, 愛知, 滋賀, 島根	12.0(平均)	群馬, 千葉, 長野, 三重, 大阪, 兵庫, 岡山, 愛媛	5.6	岩手, ◎宮城, 栃木, 群馬, 埼玉, 滋賀, 長崎
9.7	◎宮城, 栃木, 和歌山, 島根, 岡山, 長崎, 沖縄	5.6	大阪	11.9	◎宮城, 福島, 山梨, 鳥取, 徳島, 香川, 福岡, 佐賀	5.5	北海道, 山形, 福島, 山梨, 島根, 鹿児島
9.6	埼玉, 山梨, 滋賀, 徳島, 鹿児島			11.8	栃木, 神奈川, 岐阜, 長崎, 宮崎		
9.5	北海道, 神奈川, 岐阜, 三重, 大阪			11.7	山形, 埼玉, 愛知		
9.3	愛知			11.6	北海道, 滋賀, 島根		



# II 本県教育の現状と課題

## (2) 学力

### ③ 中学校(平均正答率)

- 公立中学校3年生の平均正答率は、国語は全国平均を上回る傾向が続いているが、数学は、近年、全国平均を下回っている。

全国学力・学習状況調査 平均正答率(公立中学校3年生)

(単位:%)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
国語A(知識)								
宮城県	80.8	73.8	78.1	76.2	76.2	77.6	80.3	76.1
全国	81.6	73.6	77.0	75.1	75.1	76.4	79.4	75.8
差	▲ 0.8	0.2	1.1	1.1	1.1	1.2	0.9	0.3
国語B(活用)								
宮城県	71.0	61.8	76.4	66.7	65.5	68.6	52.0	66.2
全国	72.0	60.8	74.5	65.3	63.3	67.4	51.0	65.8
差	▲ 1.0	1.0	1.9	1.4	2.2	1.2	1.0	0.4
数学A(知識)								
宮城県	70.3	61.4	62.1	64.4	60.8	62.2	65.6	63.1
全国	71.9	63.1	62.7	64.6	62.1	63.7	67.4	64.4
差	▲ 1.6	▲ 1.7	▲ 0.6	▲ 0.2	▲ 1.3	▲ 1.5	▲ 1.8	▲ 1.3
数学B(活用)								
宮城県	59.4	49.1	57.7	44.0	50.5	39.7	59.4	40.7
全国	60.6	49.2	56.9	43.3	49.3	41.5	59.8	41.6
差	▲ 1.2	▲ 0.1	0.8	0.7	1.2	▲ 1.8	▲ 0.4	▲ 0.9

# II 本県教育の現状と課題

## (2) 学力

### ④ 中学校(都道府県別平均正答数)

○ 平成27年度の平均正答数は、国語は全国平均を上回っているが、数学は全国平均を下回っている。

平成27年度全国学力・学習状況調査 都道府県別平均正答数(公立中学校3年生)

国語A(知識)		国語B(活用)		数学A(知識)		数学B(活用)	
正答数	都道府県	正答数	都道府県	正答数	都道府県	正答数	都道府県
26.7	秋田	6.4	秋田	25.6	福井	7.2	福井
26.2	福井	6.3	福井	24.6	秋田	7.0	秋田
25.8	富山, 石川	6.2	石川	24.4	石川	6.7	富山, 石川, 静岡
25.5	東京	6.1	茨城, 群馬, 富山, 岐阜, 静岡	24.2	愛知, 兵庫	6.6	東京, 岐阜, 愛知
25.4	群馬, 兵庫, 鳥取, 愛媛	6.0	◎宮城, 山形, 東京, 神奈川, 山梨, 愛知, 京都, 鳥取, 広島, 山口, 愛媛, 熊本	24.1	富山	6.5	神奈川, 愛媛
25.3	山形, 京都	5.9(平均)	北海道, 栃木, 千葉, 新潟, 長野, 兵庫, 奈良, 島根, 長崎, 大分	23.9	東京	6.4	群馬, 京都, 兵庫, 広島, 山口
25.2	茨城, 長野, 岐阜, 静岡, 愛知, 奈良, 広島, 山口	5.8	青森, 岩手, 福島, 埼玉, 三重, 大阪, 徳島, 香川, 福岡, 宮崎, 鹿児島	23.8	静岡	6.3	新潟, 奈良
25.1	青森, ◎宮城, 千葉, 神奈川, 新潟, 山梨, 香川	5.7	滋賀, 和歌山, 岡山, 高知, 佐賀	23.7	岐阜	6.2(平均)	茨城, 千葉, 山梨, 大阪, 鳥取, 香川, 熊本
25.0(平均)	北海道, 栃木, 島根, 徳島, 大分	5.5	沖縄	23.5	群馬, 京都, 奈良, 山口, 徳島, 愛媛	6.1	◎宮城, 栃木, 埼玉, 長野, 三重
24.9	岩手, 長崎			23.4	神奈川	6.0	北海道, 青森, 山形, 徳島, 福岡, 長崎, 宮崎
24.8	福島, 三重, 熊本			23.3	広島	5.9	滋賀, 和歌山, 島根, 大分, 鹿児島
24.7	埼玉, 岡山			23.2(平均)	青森, 新潟, 三重, 鳥取, 香川	5.8	岡山, 佐賀
24.6	福岡			23.1	大阪, 長崎	5.7	福島
24.5	大阪			23.0	滋賀, 和歌山, 熊本, 宮崎	5.5	岩手
24.4	滋賀, 佐賀, 宮崎			22.9	栃木, 山梨, 長野	5.4	高知
24.2	和歌山, 高知, 鹿児島			22.8	山形, 千葉	5.1	沖縄
23.1	沖縄			22.7	北海道, ◎宮城, 茨城, 埼玉, 大分		
				22.6	島根, 岡山		
				22.4	福岡		
				22.2	佐賀, 鹿児島		
				22.0	福島		
				21.6	岩手, 高知		
				20.1	沖縄		

資料: 文部科学省「平成27年度全国学力・学習状況調査」

# II 本県教育の現状と課題

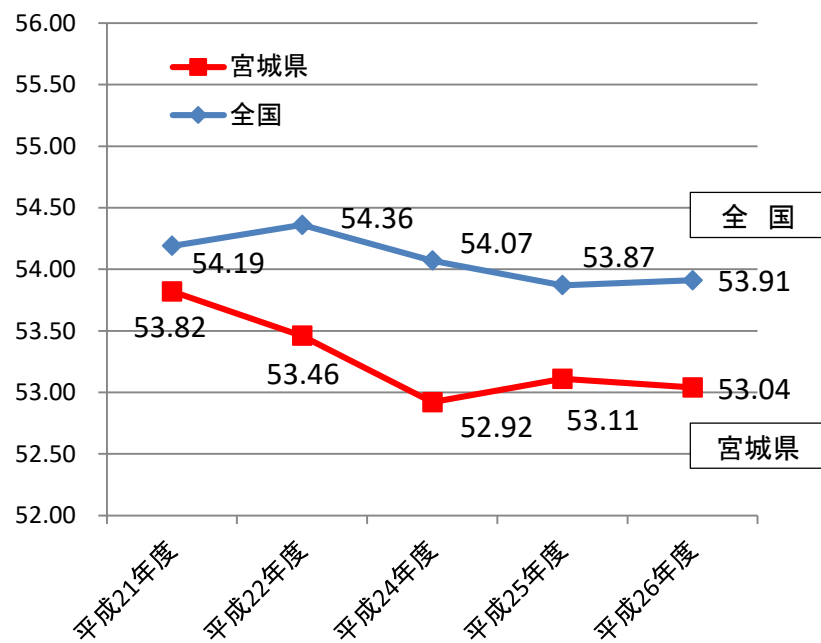
## (3) 体力・運動能力等

### ① 体力・運動能力(小学校)

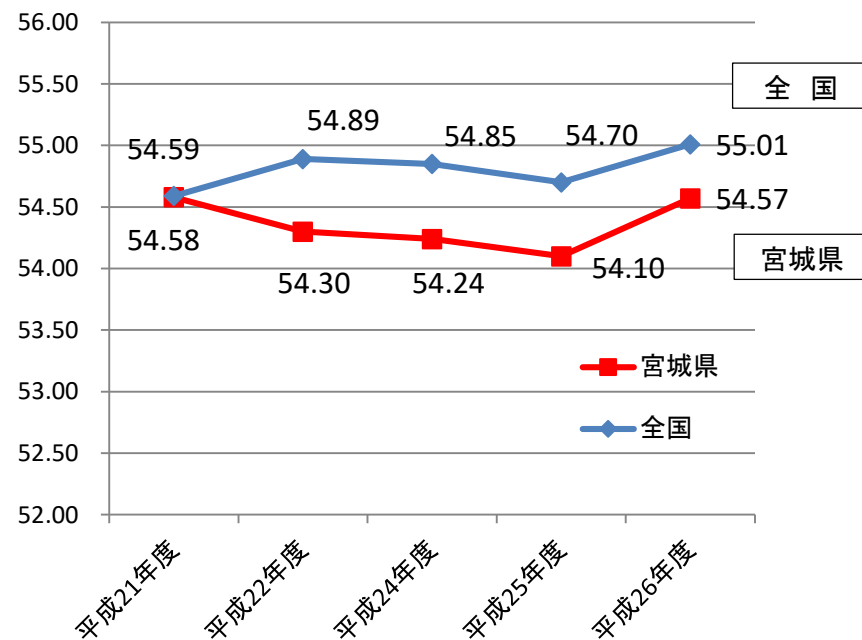
○ 公立小学校5年生の体力テストの結果は、男女ともに、全国平均を下回っている。

対象種目(握力, 上体起こし, 長座体前屈, 反復横とび, 20mシャトルラン, 50m走, 立ち幅跳び, ソフトボール投げ)の体力合計点。

【単位:点】 体力合計点(公立小学校5年生:男子)



【単位:点】 体力合計点(公立小学校5年生:女子)



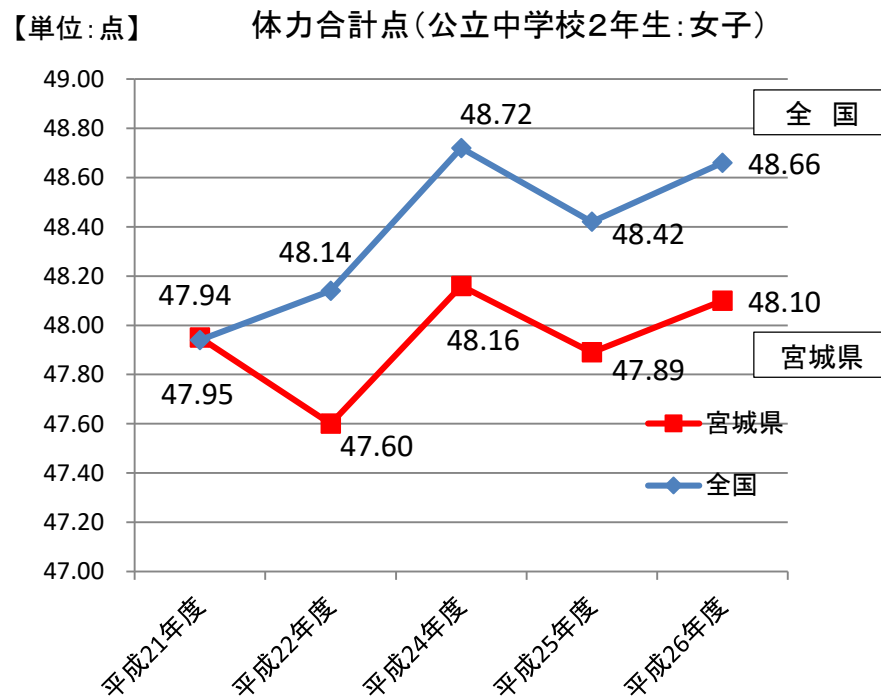
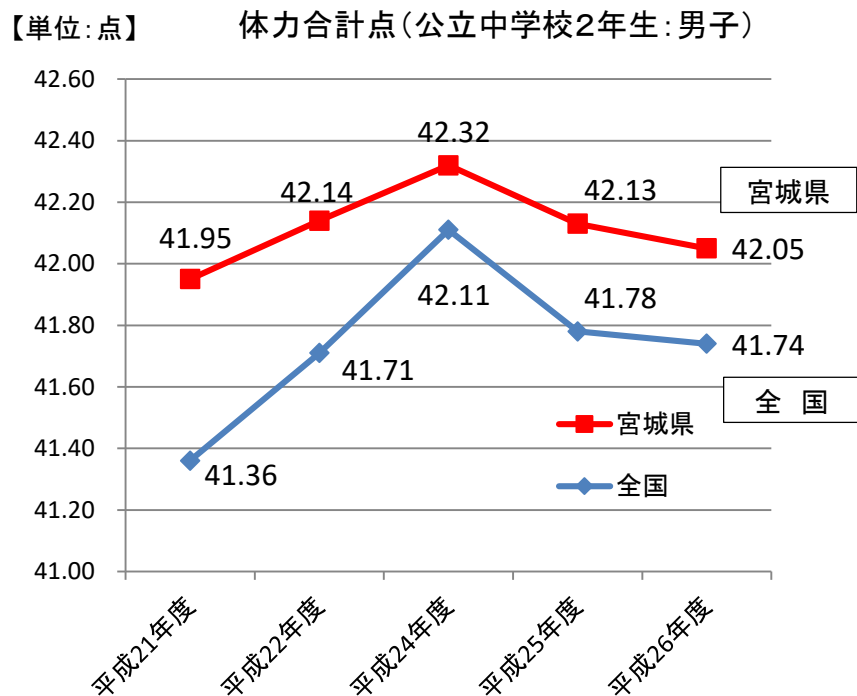
# II 本県教育の現状と課題

## (3) 体力・運動能力等

### ② 体力・運動能力(中学校)

- 公立中学校2年生の体力テストの結果は、男子は全国平均を上回っているが、女子は全国平均を下回っている。

対象種目(握力, 上体起こし, 長座体前屈, 反復横とび, 持久走1,500m, 50m走, 立ち幅跳び, ハンドボール投げ)の体力合計点。



# II 本県教育の現状と課題

## (3) 体力・運動能力等

### ③ 肥満傾向児の出現率

- 肥満傾向児の出現率は、全学年で全国値より高くなっている。また、全国順位では、小学校5年生の女子が全国1位となっている。

区 分	男 子				女 子			
	宮城県値	全国値	差	順位	宮城県値	全国値	差	順位
幼稚園								
5歳	4.72	2.55	2.17	4	3.92	2.69	1.23	8
小学校								
1年生	8.09	4.34	3.75	2	7.27	4.15	3.12	3
2年生	8.77	5.45	3.32	4	9.34	5.41	3.93	5
3年生	12.48	7.57	4.91	2	10.71	6.24	4.47	2
4年生	12.18	8.89	3.29	7	10.75	7.36	3.39	5
5年生	14.24	9.72	4.52	6	16.10	8.40	7.70	1
6年生	14.73	10.28	4.45	3	9.73	8.56	1.17	16
中学校								
1年生	13.99	10.72	3.27	3	11.47	7.97	3.50	7
2年生	13.40	8.94	4.46	3	9.15	7.89	1.26	16
3年生	10.22	8.16	2.06	4	10.50	7.68	2.82	8
高等学校								
1年生	18.07	11.42	6.65	3	10.91	8.35	2.56	10
2年生	10.62	10.16	0.46	24	11.21	7.44	3.77	3
3年生	15.89	10.69	5.20	2	9.20	8.25	0.95	14

注：肥満傾向児とは、肥満度が20%以上の者をいう。※肥満度＝(実測体重－身長別標準体重)／身長別標準体重×100(%)

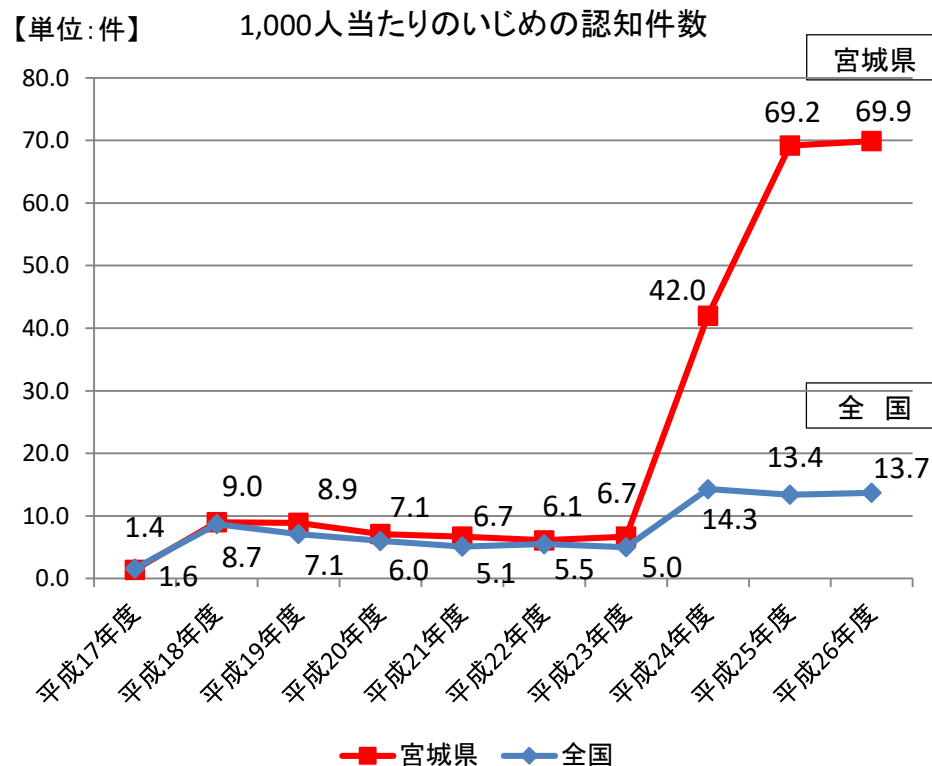
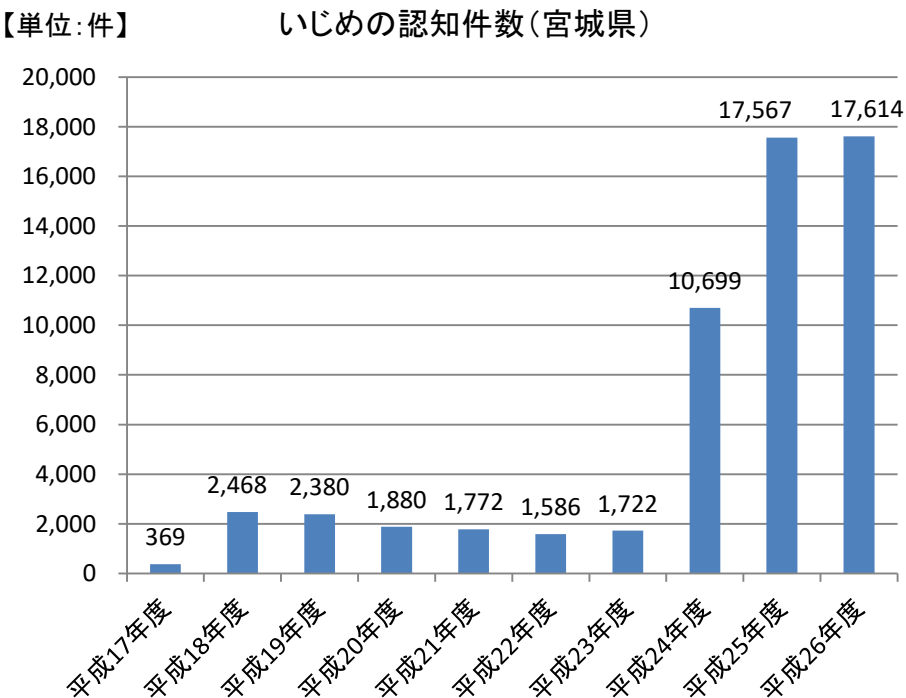
資料：文部科学省「平成26年度学校保健統計調査」

# II 本県教育の現状と課題

## (4) いじめ・不登校

### ① いじめの認知件数(小学校, 中学校, 高等学校, 特別支援学校)

- 児童生徒や教職員のいじめに対する認識が高まり, 学校現場で早期発見の方針が徹底されたこともあり, 平成24年度以降, いじめの認知件数が大幅に増えている。
- 平成26年度の「1,000人当たりのいじめの認知件数」は69.9件で, 全国第2位である。



# II 本県教育の現状と課題

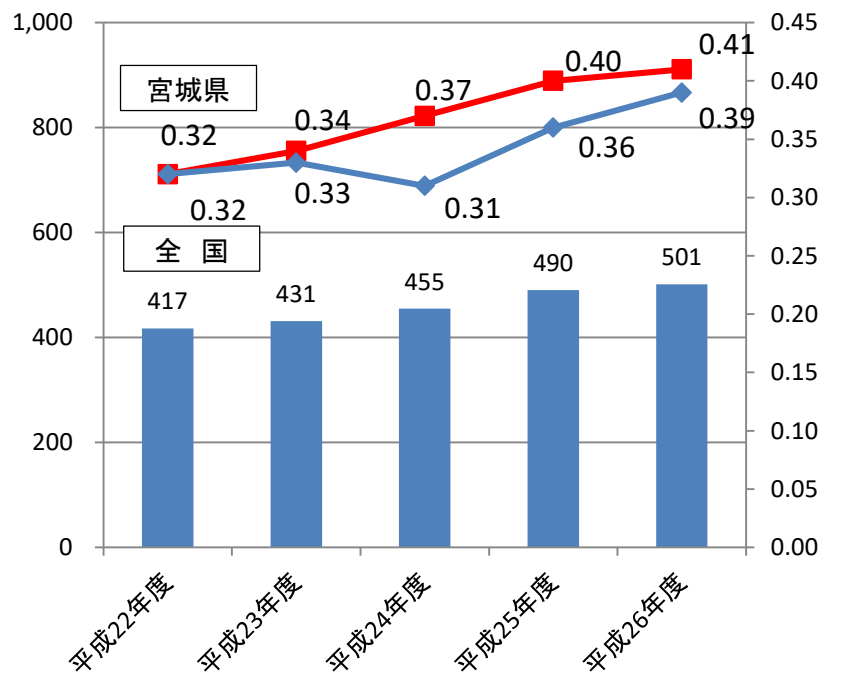
## (4) いじめ・不登校

### ② 不登校児童生徒数(小学校, 中学校)

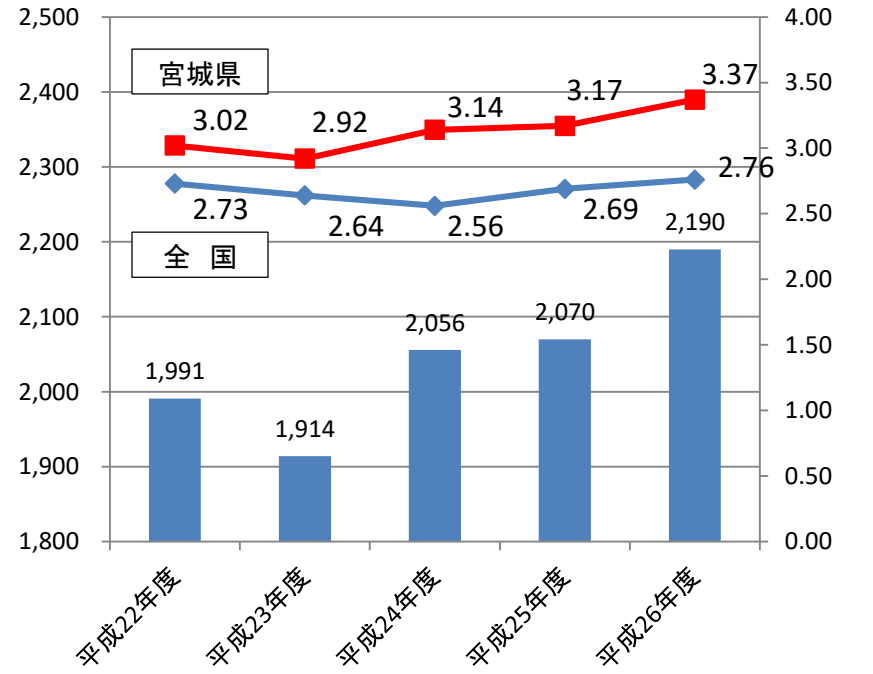
○ 不登校児童生徒数は, 小学校, 中学校ともに増加傾向にあり, 出現率は全国平均を上回っている。

○ 平成26年度の中学校における出現率は3.37で, 全国第2位である。

【単位:人】 不登校児童数(小学校) 【単位:%】



【単位:人】 不登校生徒数(中学校) 【単位:%】



■ 不登校児童数 ■ 出現率(宮城県) ◆ 出現率(全国)

■ 不登校生徒数 ■ 出現率(宮城県) ◆ 出現率(全国)

# II 本県教育の現状と課題

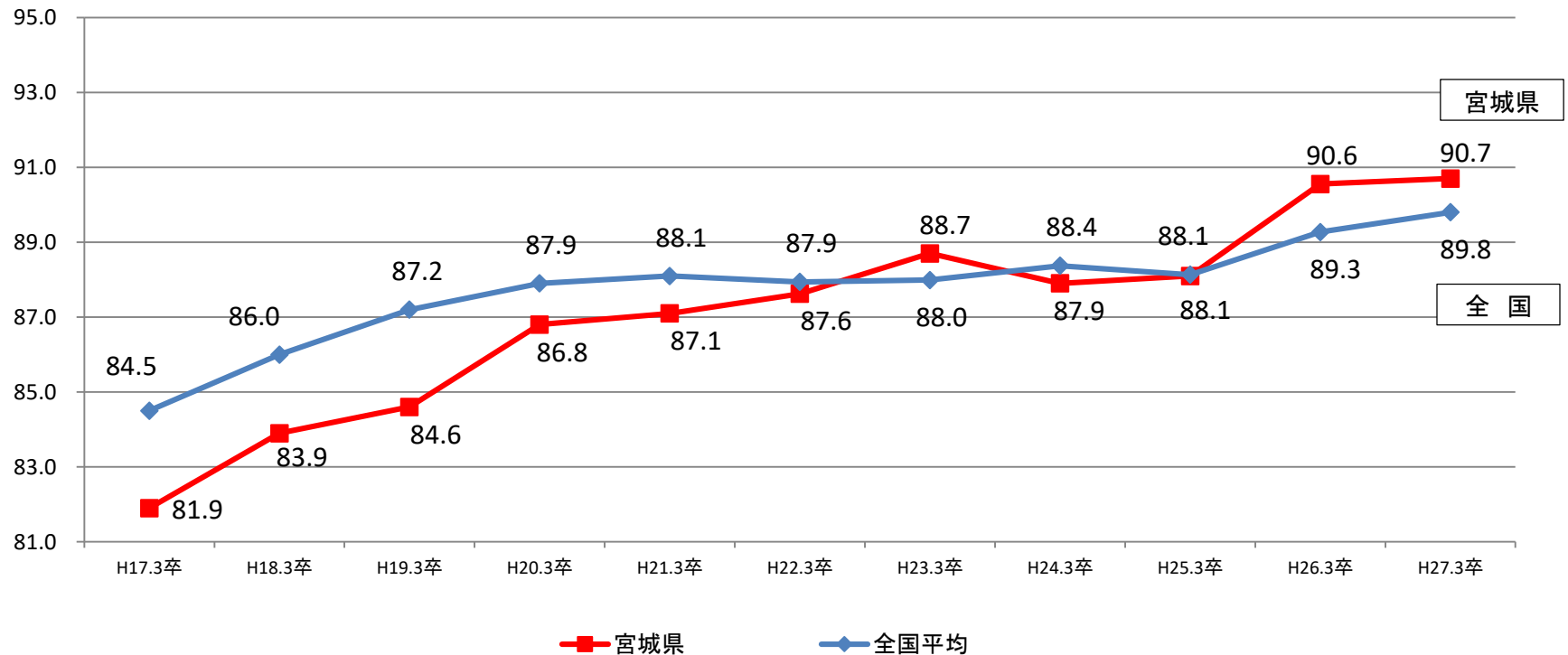
## (5) 高等学校卒業生の進路

### ① 大学・短期大学への現役進学達成率

- 大学等への現役進学達成率は増加傾向にある。
- 平成26年3月卒からは、全国平均を上回っている。

【単位：％】

大学・短期大学への現役進学達成率(＝進学者数／志願者数)



資料：文部科学省「学校基本調査」

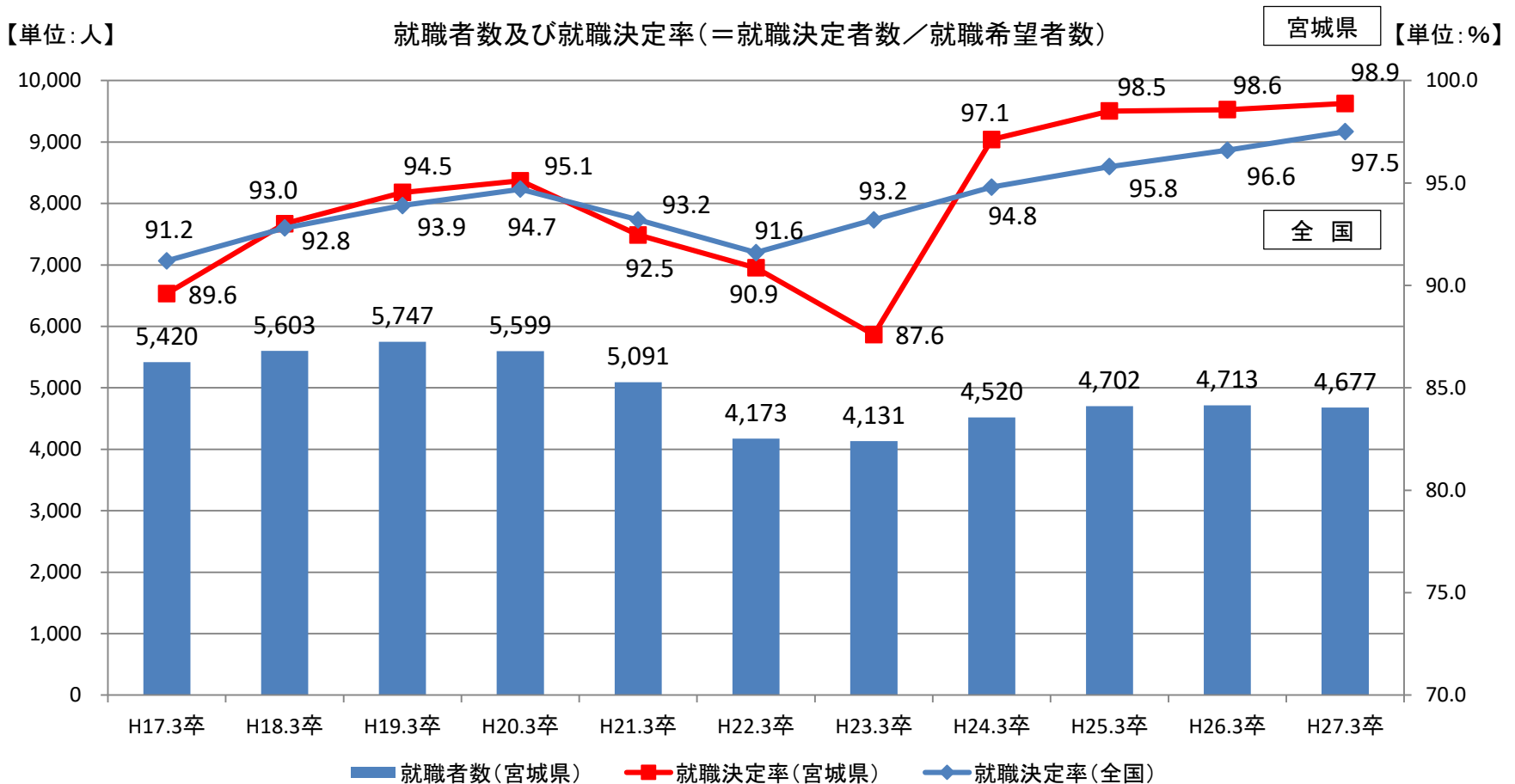


# II 本県教育の現状と課題

## (5) 高等学校卒業生の進路

### ② 就職者数及び就職決定率

○ 宮城県の就職決定率は、平成24年3月卒以降、全国平均を上回っている。



資料：文部科学省「高等学校卒業者の就職状況に関する調査」

# II 本県教育の現状と課題

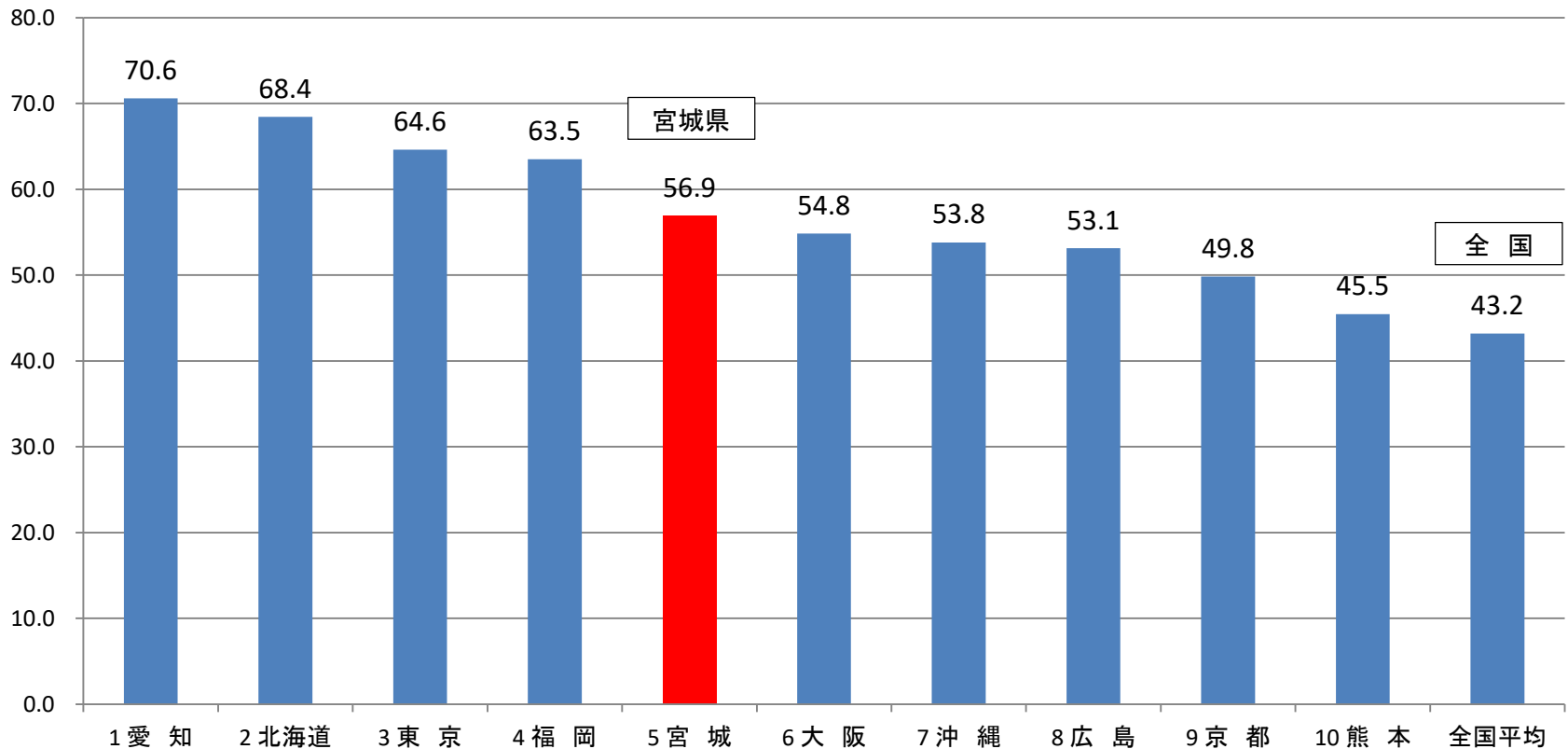
## (5) 高等学校卒業生の進路

### ③ 宮城県内の大学に進学する生徒の割合

○ 平成26年度の宮城県内の高等学校から宮城県内の大学に進学する生徒の割合は56.9%であり、全国平均を上回り、全国第5位となっている。

【単位：%】

高校と同一の都道府県内の大学に進学する生徒の割合



資料：文部科学省「平成26年度学校基本調査」

# II 本県教育の現状と課題

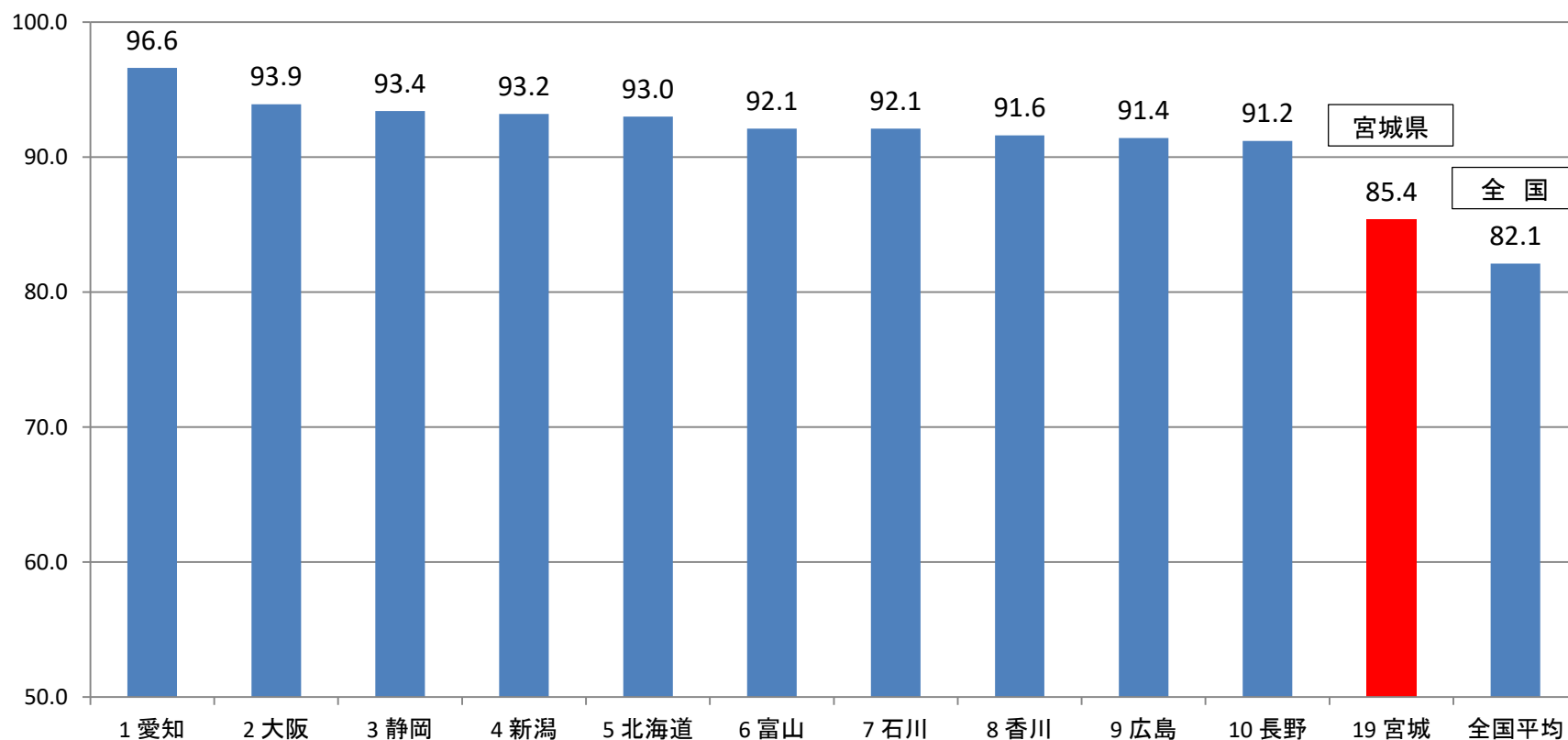
## (5) 高等学校卒業生の進路

### ④ 宮城県内の企業に就職する生徒の割合

○ 平成26年度の宮城県内の高等学校から宮城県内の企業に就職する生徒の割合は85.4%であり、全国平均を上回り、全国第19位となっている。

【単位：％】

高校と同一の都道府県内の企業に就職する生徒の割合



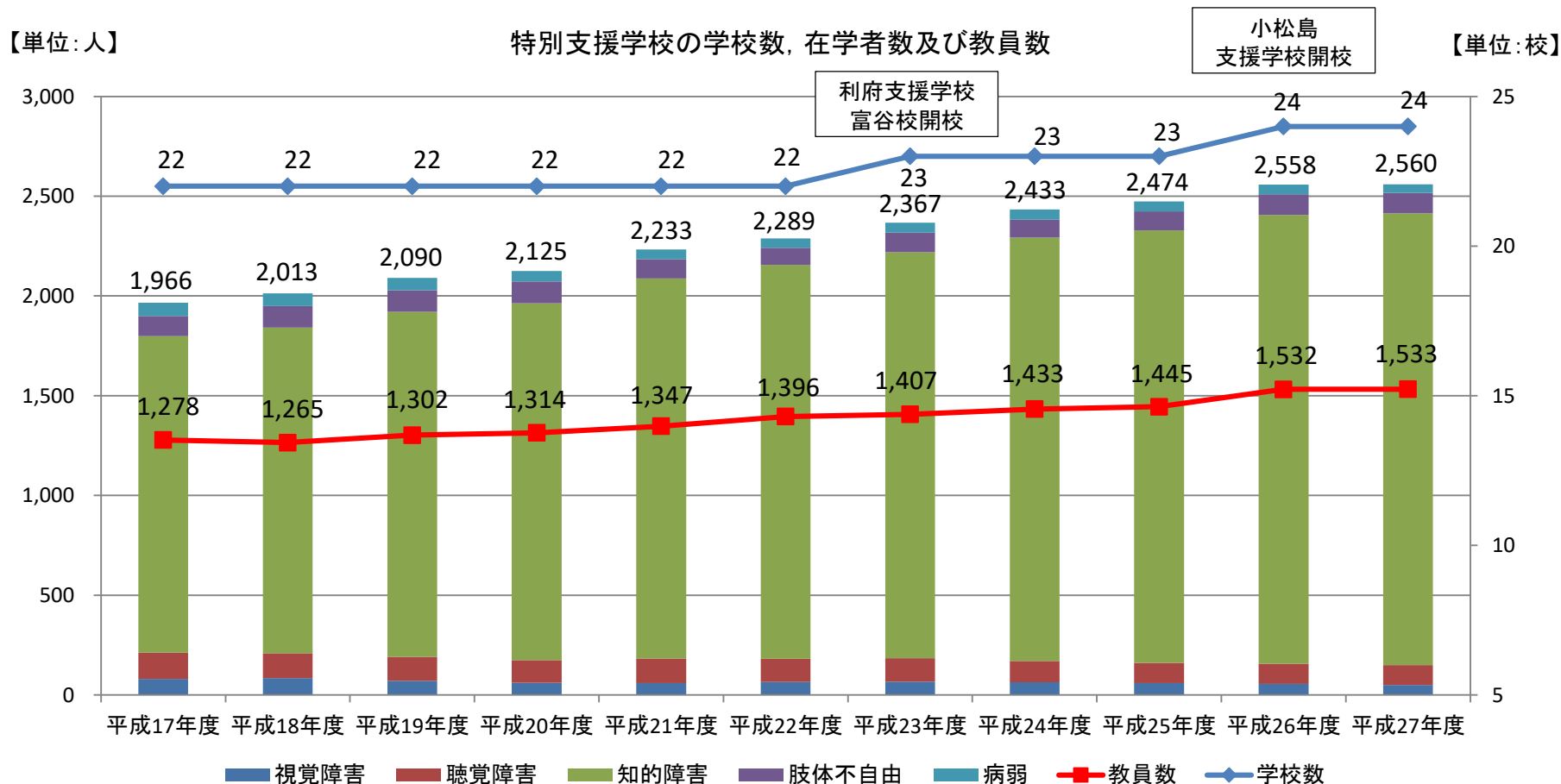
資料：文部科学省「平成26年度学校基本調査」

# II 本県教育の現状と課題

## (6) 特別支援教育

### ① 特別支援学校

○ 在学者数は年々増加傾向にあり，それに伴い学校数，教員数も増加している。



# II 本県教育の現状と課題

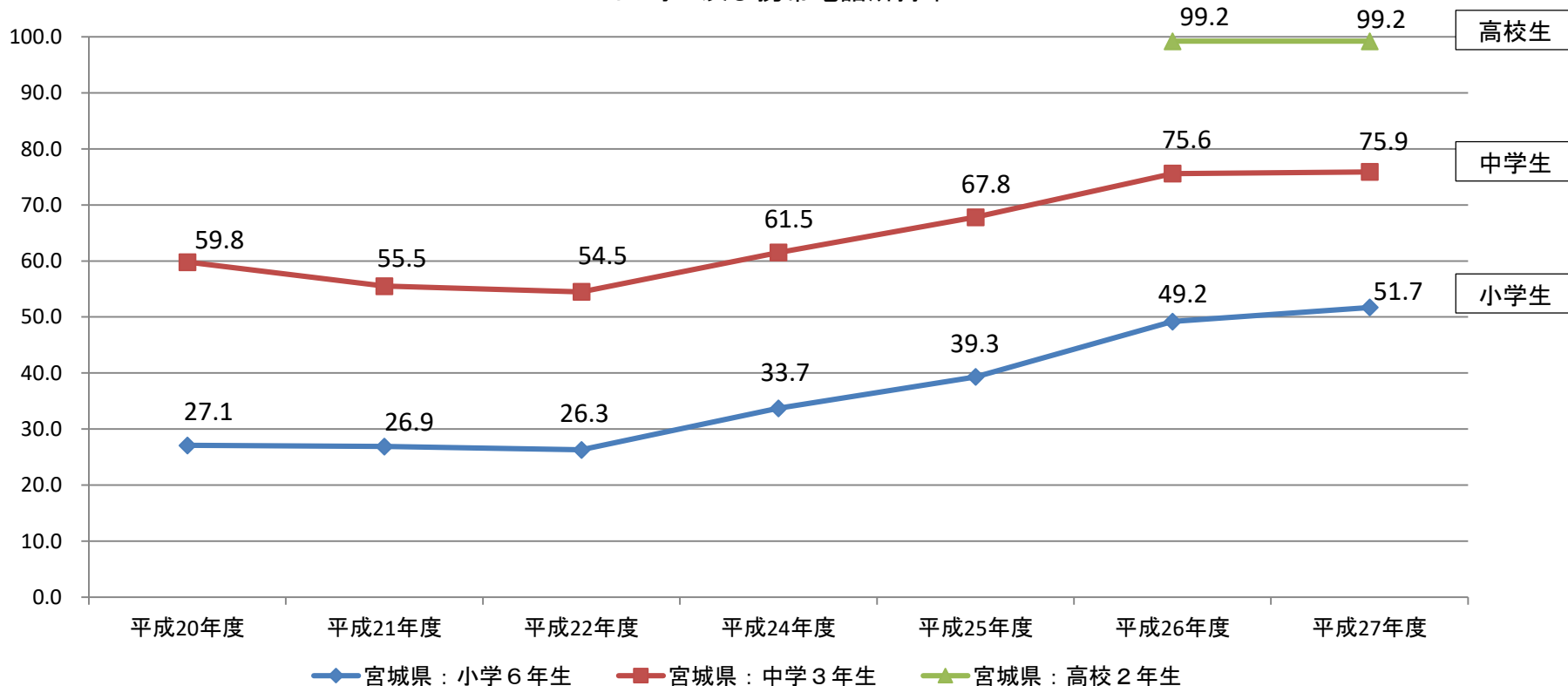
## (7) ICT教育

### ① スマートフォン等の普及状況

○ スマートフォン及び携帯電話の所持率は、高度情報化社会の進展に伴い増加傾向にあり、小学校6年生で51.7%、中学3年生で75.9%、高校3年生でほぼ100%となっている。

【単位：%】

スマートフォン及び携帯電話所持率



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」(小学生，中学生)，宮城県「公立高等学校みやぎ学力状況調査」(高校生)

※平成23年度は震災の影響により調査中止

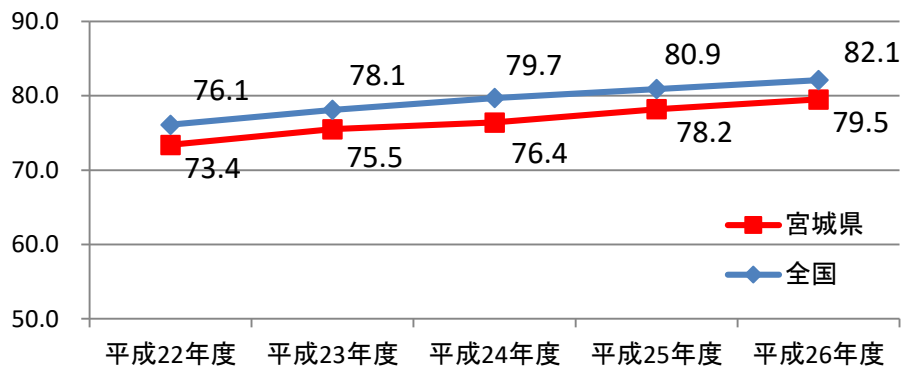
# II 本県教育の現状と課題

## (7) ICT教育

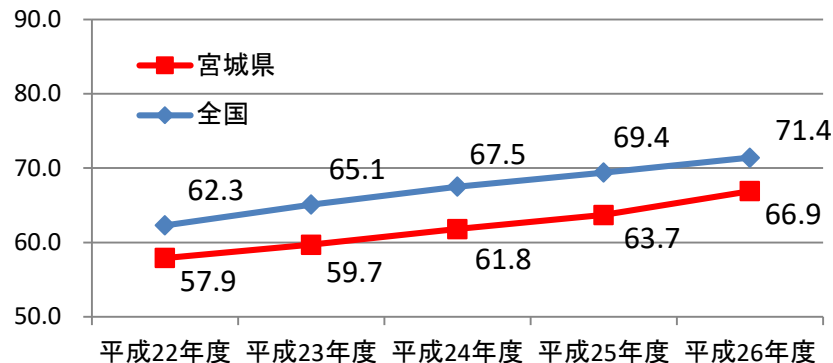
### ② 教員のICT活用指導力の状況

○ ICT活用指導力を有する教員の割合は、毎年度増加しているものの、4項目全てで全国平均を下回っている。

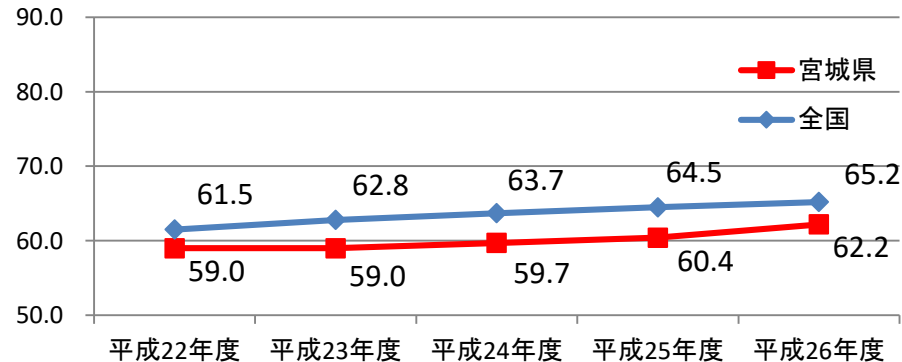
【単位：％】 A: 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力



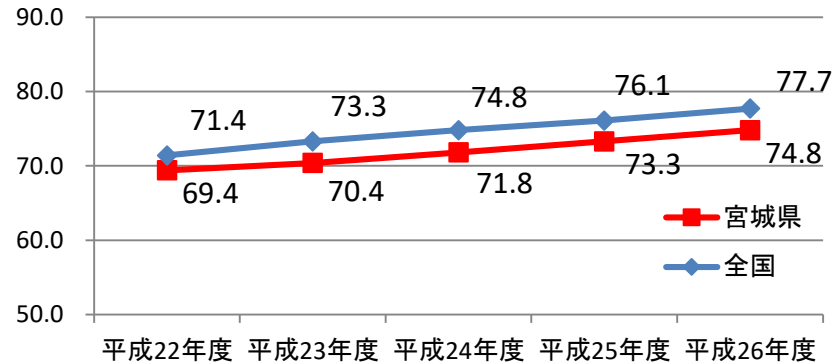
【単位：％】 B: 授業中にICTを活用して指導する能力



【単位：％】 C: 児童・生徒のICT活用を指導する能力



【単位：％】 D: 情報モラルなどを指導する能力



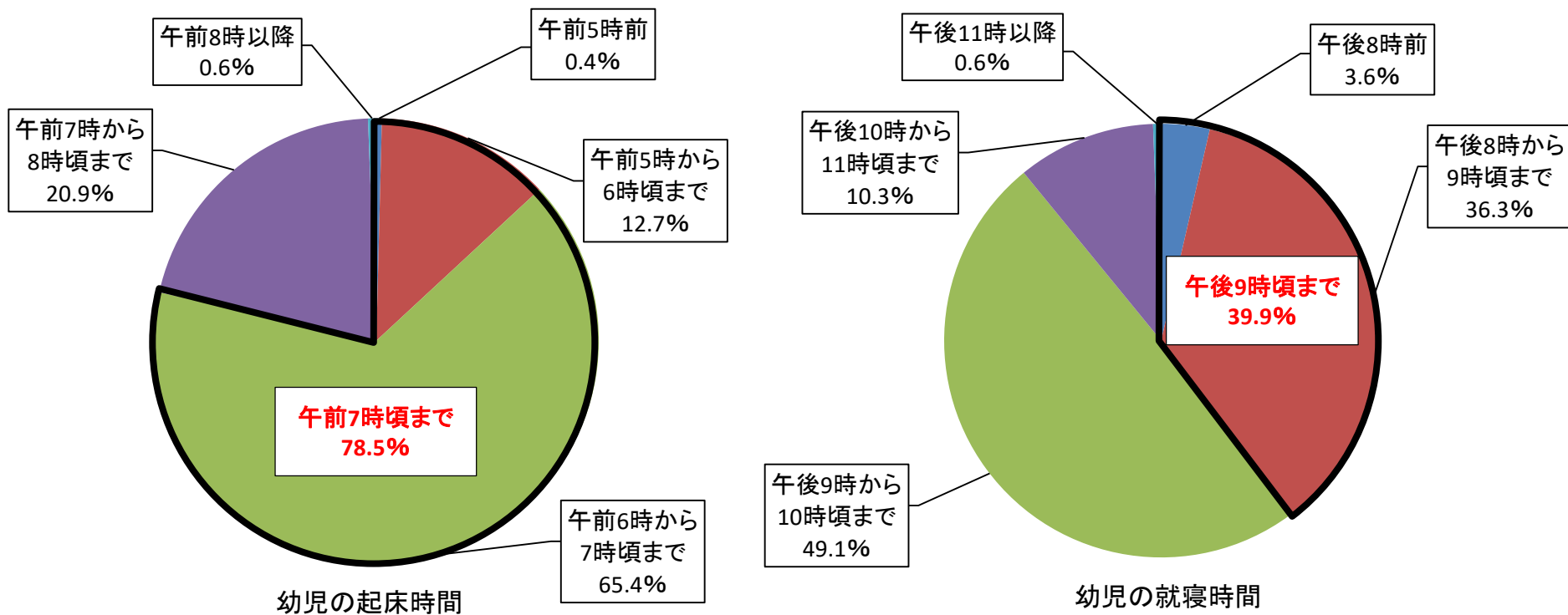
# II 本県教育の現状と課題

## (8) 家庭・地域の教育

### ① 基本的な生活習慣

#### i 幼児の起床時間及び就寝時間

○ 幼児の起床時間は、午前7時頃までに起床する割合が約8割となっている。また、就寝時間は、県が推奨する午後9時頃までに就寝する割合が約4割となっている。



# II 本県教育の現状と課題

## (8) 家庭・地域の教育

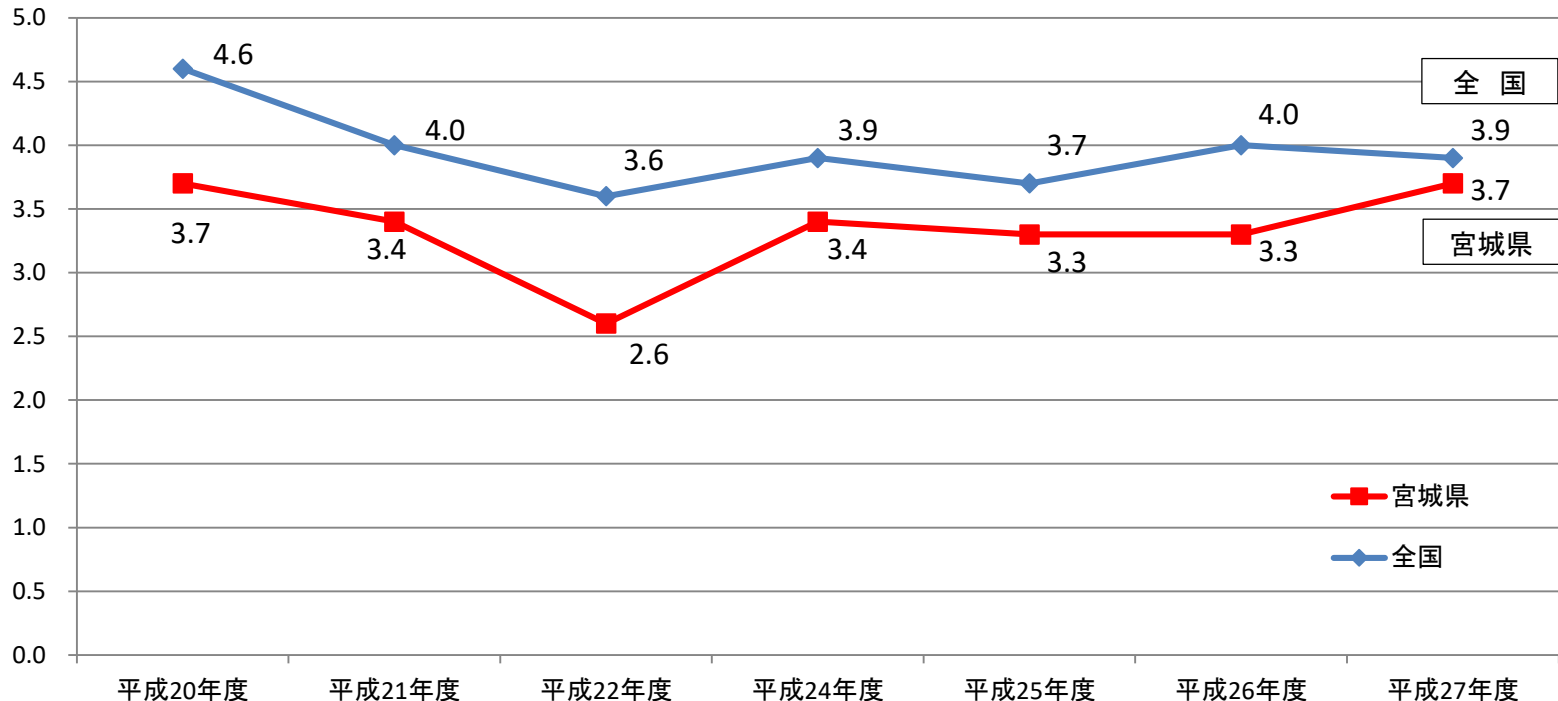
### ① 基本的な生活習慣

#### ii 子どもの朝食

○ 朝食を食べないことがある子どもの割合は、全国平均よりも下回っているものの、目標値(2.0%以下)を上回っている。

【単位：％】

朝食を食べないことがある子どもの割合(小学6年生)



資料：文部科学省「全国学力・学習状況調査」

※平成23年度は震災の影響により調査中止



# II 本県教育の現状と課題

## (8) 家庭・地域の教育

### ② 協働教育の推進

#### i 協働教育プラットフォーム事業

- 子どもを地域全体で育むために、**家庭・地域・学校をつなぐ仕組み**をつくり、協働による教育活動の充実と家庭・地域の教育力の向上を図るため、市町村委託事業として実施している。
  - ◆家庭教育支援・・・親の「学び」と「育ち」を支える環境づくり ほか
  - ◆学校教育支援・・・学校支援ボランティア等による教育活動支援 ほか
  - ◆地域活動支援・・・放課後や休日等を利用しての多様な学び・交流の場の提供 ほか

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
委託市町村数	15市町村	28市町村	28市町村	31市町村	32市町村

#### ii 教育応援団事業

- 子どもの教育活動を支援する企業・団体、個人等を「みやぎ教育応援団」として認証・登録し、子どもの学習・体験活動の充実・活性化を図っている。

		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度 (9月末現在)
登録件数	企業・団体	181団体	200団体	218団体	219団体	234団体
	個人	0人	363人	363人	427人	493人
利用件数		899件	1,426件	2,039件	2,143件	



# II 本県教育の現状と課題

## (8) 家庭・地域の教育

### ② 協働教育の推進

#### iii 家庭教育支援

- ・ 県教育委員会では、“親の学びの場”を支援する地域ボランティアとして「子育てサポーター」等を養成し、家庭教育支援の充実と家庭の教育力の向上を図っている。
  - § 子育てサポーター養成講座 修了者累計 635人(平成16年～平成27年10月末現在)
  - § 宮城県家庭教育支援チーム派遣事業
    - io “親の学びの場”の提供
      - 平成26年度 11回実施 826人参加
      - 平成27年度 5回実施 309人参加
    - io 各市町村における家庭教育支援チームの設置促進及び活動支援
      - 各市町村における「家庭教育支援チーム」設置 17市町18チーム(平成27年10月末現在)

#### iv 放課後子ども教室推進事業

- ・ 全ての子どもを対象とし、放課後や週末等に、小学校の余裕教室等を活用し、地域の方々の参画を得て、子どもたちの学習やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等を実施している。

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度
市町村数	15市町村	17市町村	17市町村	19市町村	18市町村
教室数	49教室	55教室	55教室	59教室	52教室
子どもの参加人数 (延べ)	67,216人	82,587人	99,836人	104,390人	119,750人

# II 本県教育の現状と課題

## (8) 家庭・地域の教育

### ③ コミュニティ・スクール

#### i コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)とは・・・

⇒ 「学校運営協議会」を設置している学校を指し、任命された保護者や地域住民の方々が一定の権限を持って学校運営に参画する「**地域とともにある学校**」の仕組み。



#### ii コミュニティ・スクール指定校

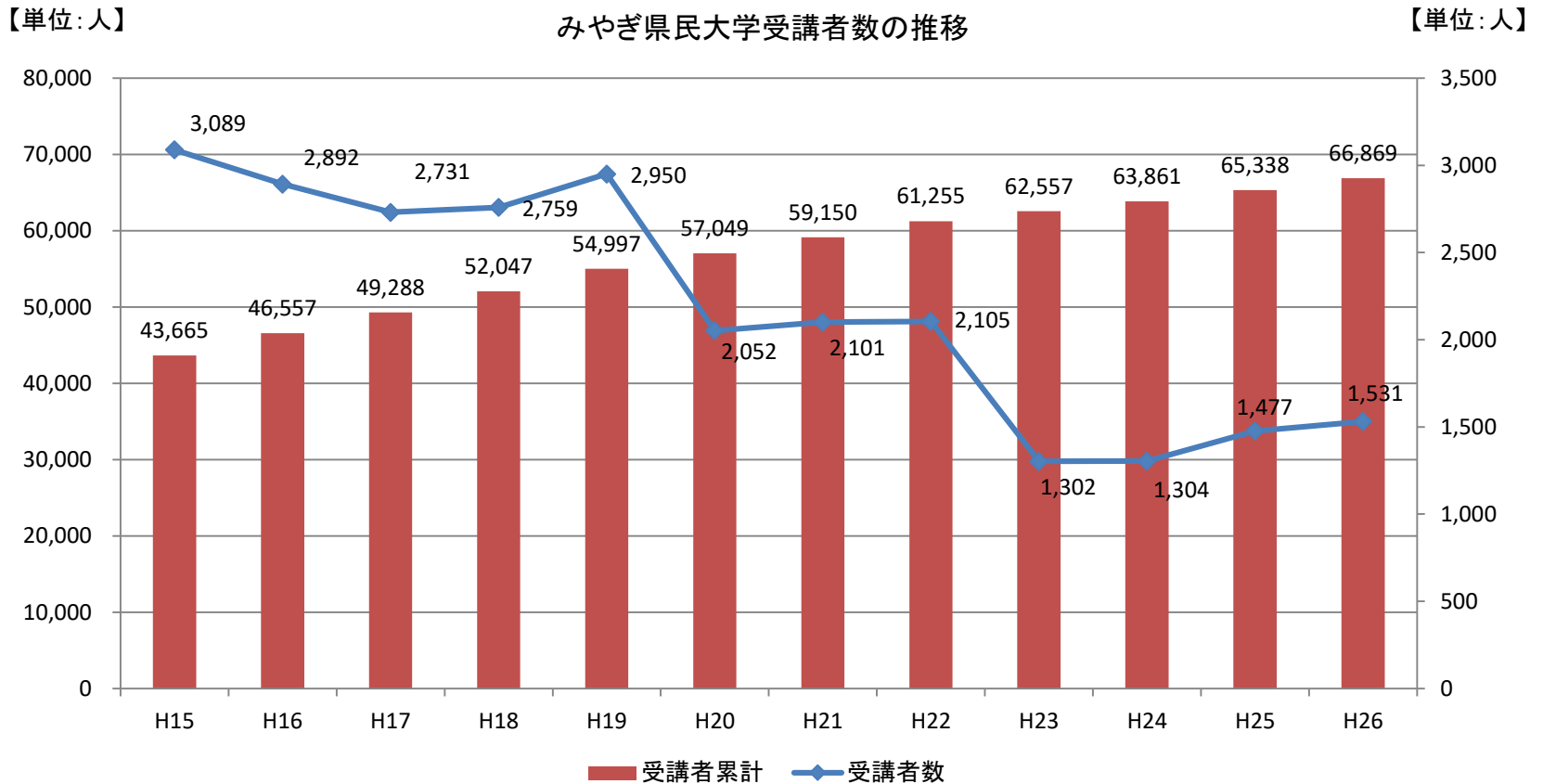
市町名	学校名	指定日
登米市	石森小学校	平成26年4月1日
	新田小学校	平成27年4月1日
東松島市	鳴瀬未来中学校	平成26年12月1日
柴田町	東船岡小学校	平成19年4月1日

# II 本県教育の現状と課題

## (9) 生涯学習・文化芸術

### ① みやぎ県民大学

○ 県民の学習活動を支援するため、県内の学校や関係団体等との連携により各種講座を開講している。



資料：宮城県「生涯学習課資料」

# II 本県教育の現状と課題

## (9) 生涯学習・文化芸術

### ② 宮城県図書館の利用状況

- 個人貸出冊数は、東日本大震災の影響により落ち込み、震災前の利用状況には戻っていない。
- 県内市町村図書館及び公民館図書室への協力貸出冊数は、増加傾向にある。

宮城県図書館の利用状況

	H22	H23	H24	H25	H26
個人貸出数 (単位:冊)	816,159	700,963	685,043	691,768	675,585
市町村協力貸出数 (単位:冊)	22,174	14,024	18,109	18,045	19,669

資料:宮城県「生涯学習課資料」

# II 本県教育の現状と課題

## (9) 生涯学習・文化芸術

### ③ 読書活動の状況

- 1か月の平均読書冊数は、全ての校種で全国の値を下回っている。
- 不読率は、小学生で全国の値を大きく上回っている。

平成26年度 読書活動の状況

	1か月の平均読書冊数		不読率(全く本を読まない率)	
	宮城県	全国	宮城県	全国
小学生	9.1冊	11.4冊	12.0%	3.8%
中学生	3.2冊	3.9冊	16.9%	15.0%
高校生	1.5冊	1.6冊	45.8%	48.7%
保護者	1.7冊	—	47.9%	—

# II 本県教育の現状と課題

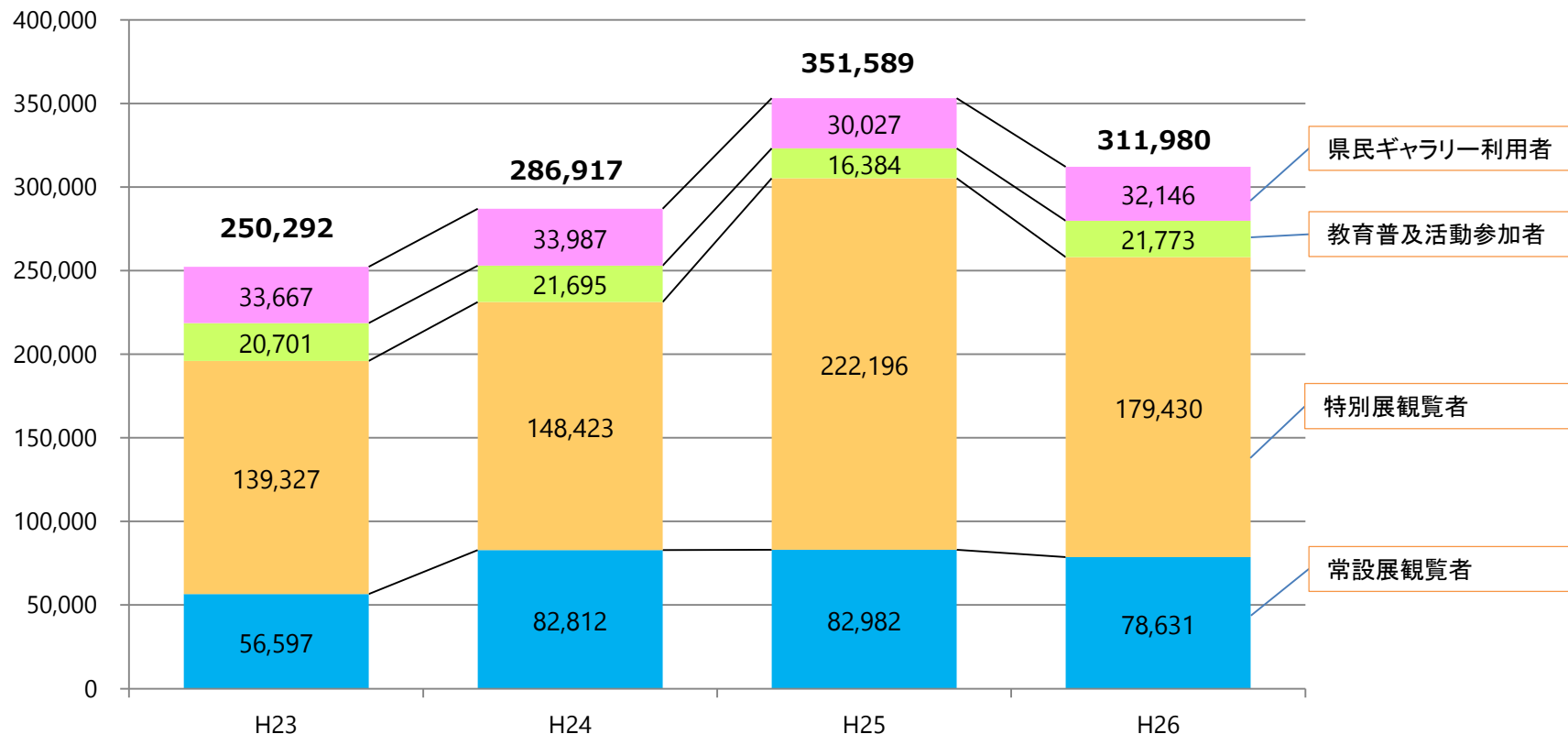
## (9) 生涯学習・文化芸術

### ④ 宮城県美術館の利用状況

○ 県民の鑑賞機会，創作活動，体験交流の場として，様々な事業を展開し，年間の利用者数は30万人を超えている。

【単位：人】

宮城県美術館の利用状況



資料：宮城県「生涯学習課資料」

# II 本県教育の現状と課題

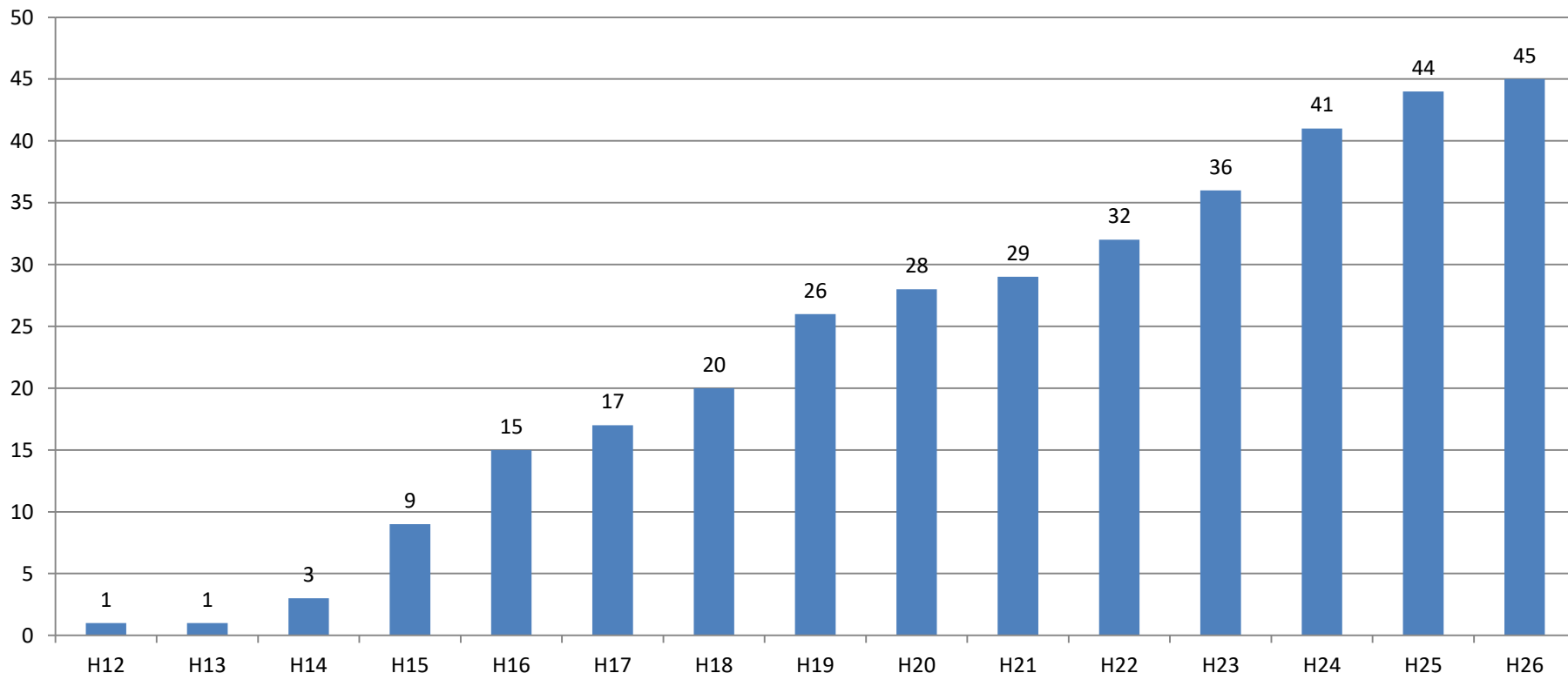
## (10) スポーツ

### ① 総合型地域スポーツクラブ

○ スポーツを通じた地域コミュニティ構築のための活動拠点である総合型地域スポーツクラブは、11市11町に45のクラブが設立している。

【単位：クラブ】

総合型地域スポーツクラブ設立状況(累計)



資料：宮城県「スポーツ健康課資料」

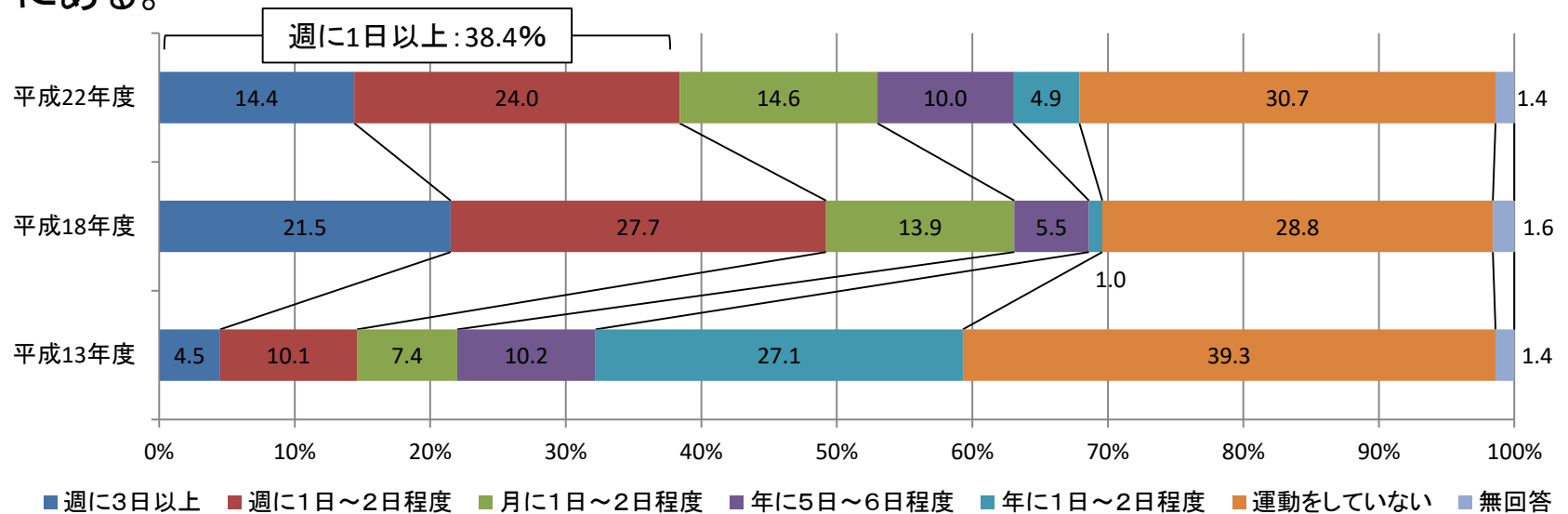


# II 本県教育の現状と課題

## (10) スポーツ

### ② 1年間に運動やスポーツ活動をした日数

○ 「週に1日以上」運動した人の割合は、平成22年度調査で38.4%と、平成18年度調査に比べて10.8ポイント低下しており、全国平均47.5%(平成24年度調査)よりも低い傾向にある。



資料: 宮城県「スポーツに関する県民アンケート調査」

国における成人の週1日以上のスポーツ実施率

平成12年度	平成15年度	平成18年度	平成21年度	平成24年度
37.2%	38.5%	44.4%	45.3%	47.5%

資料: 内閣府「体カ・スポーツに関する世論調査」

# II 本県教育の現状と課題

## (10) スポーツ

### ③ 県内のスポーツ施設

施設 圏域	体育館	プール	武道館	陸上競技場	サッカー場	野球場	その他	計
大 河 原	44	5	4	2	1	10	18	84
仙 台	46	10	15	5	4	19	27	126
大 崎	37	5	13	1	6	23	23	108
栗 原	17	2	7	1	0	7	12	46
登 米	24	3	6	0	0	8	11	52
石 巻	25	10	8	1	1	9	15	69
気仙沼・本吉	7	1	3	0	0	2	5	18
小 計	200	36	56	10	12	78	111	503

※圏域別には、宮城県及び仙台市は含まない。

宮 城 県	2	4	5	3	1	1	4	20
仙 台 市	68	13	6	1	9	30	29	156
合 計	270	53	67	14	22	109	144	679

※平成26年12月31日現在で、各市町村の条例に基づき設置されている施設数をとりまとめたもの。

資料：宮城県「スポーツ健康課資料」

### ④ 県内を本拠地とする主なプロスポーツチーム

- 東北楽天ゴールデンイーグルス(野球)
- 東北レイア(女子野球)
- ベガルタ仙台(サッカー)
- ベガルタ仙台レディース(女子サッカー)
- 仙台89ERS(バスケットボール)
- 仙台ベルフィーユ(女子バレーボール) ほか

# III 本県の基本計画

## (1) 計画の概要

### ① 各計画の関係

長期総合計画

#### 宮城の将来ビジョン

(平成19年度～平成28年度)

- ・ 県政運営の基本的な指針

#### 宮城県震災復興計画

(平成23年度～平成32年度)

- ・ 10年間の復興の道筋を示す計画

#### 宮城県地方創生総合戦略

(平成27年度～平成31年度)

- ・ 2060年に向けて目指すべき将来の方向

教育分野の基本計画

#### 宮城県教育基本方針

(平成22年4月1日施行)

- ・ 本県教育行政の基本理念

#### 宮城県教育振興基本計画

(平成22年度～平成31年度)

- ・ 本県教育の目指すべき姿を明確にし、それに向けて講ずべき施策の方向性等を示す計画

#### 教育等の振興に関する施策の大綱

(平成27年度～平成28年度)

- ・ 「宮城県教育振興基本計画」と「宮城県震災復興計画」における目標や施策の根本となる方針を一体的に整理したもの
- ・ 法律に基づき、知事が策定

### 第2期宮城県教育振興基本計画

(平成29年度～平成38年度)

# III 本県の基本計画

## (1) 計画の概要

### ② 「宮城県教育振興基本計画」及び「宮城県震災復興計画」の概要

#### 宮城県教育振興基本計画 (平成22年度～平成31年度)

- ・ 本県教育の振興に関する施策の総合的かつ体系的な推進を図るため、本県教育の目指すべき姿を明確にし、それに向けて講ずべき施策の方向性等を示す計画
  - ・ 教育基本法第17条第2項の規定に基づき県が策定
  - ・ 「宮城の将来ビジョン」との一体性に配慮
- <策定主体> 宮城県・宮城県教育委員会

#### <施策の基本方向>

- 1 学ぶ力と自立する力の育成
- 2 豊かな人間性や社会性、健やかな体の育成
- 3 障害のある子どもへのきめ細かな教育の推進
- 4 信頼され魅力ある教育環境づくり
- 5 家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり
- 6 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進

#### 宮城県震災復興計画 (平成23年度～平成32年度)

- ・ 東日本大震災により甚大な被害を受けた本県の今後10年間の復興の道筋を示す計画
- <策定主体> 宮城県

#### <教育分野の復興の方向性>

- 1 安全・安心な学校教育の確保
  - ① 学校施設の復旧・再建
  - ② 被災児童生徒等の就学支援
  - ③ 児童生徒等の心のケア
  - ④ 防災教育の充実
  - ⑤ 「志教育」の推進
- 2 家庭・地域の教育力の再構築
  - ① 地域全体で子どもを育てる体制の整備
  - ② 地域と連携した学校安全の確保
- 3 生涯学習・文化・スポーツ活動の充実
  - ① 社会教育・社会体育施設の復旧と生涯学習活動の推進
  - ② 被災文化財の修理・修復と地域文化の振興

# III 本県の基本計画

## (1) 計画の概要

### ③ 「宮城県教育振興基本計画」の点検及び評価

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項の規定に基づき、宮城県教育振興基本計画の体系に沿って、毎年、点検及び評価を実施している。

施策の基本方向	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1 学ぶ力と自立する力の育成	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
2 豊かな人間性や社会性, 健やかな体の育成	<u>やや遅れている</u>	<u>やや遅れている</u>	<u>やや遅れている</u>	<u>やや遅れている</u>	<u>やや遅れている</u>
3 障害のある子どもへのきめ細かな教育の推進	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
4 信頼され魅力ある教育環境づくり	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調	概ね順調
5 家庭・地域・学校が協働して子どもを育てる環境づくり	概ね順調	概ね順調	<u>やや遅れている</u>	概ね順調	概ね順調
6 生涯にわたる学習・文化・スポーツ活動の推進	概ね順調	<u>やや遅れている</u>	<u>やや遅れている</u>	概ね順調	概ね順調

# III 本県の基本計画

## (2) 主な取組

### ① 志教育

- ・ みやぎの「志教育」とは・・・

⇒ 小・中・高等学校の全時期を通じて、人や社会とかかわる中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考えさせながら、将来の社会人としてのよりよい生き方を主体的に求めさせていく教育

みやぎの志教育プラン(平成22年11月策定)

### 「志教育」3つの視点

○様々な人とかかわりを通して、自己理解や他者理解を深化させる。

○集団や組織の中で、よりよい人間関係を築く力や社会性を養う。

○学校で学ぶ知識と、社会や職業との関連を実感させる。

○社会において役割を果たす人間として、自らの在り方生き方について主体的に探求させる。

○集団や組織の中で、自分の果たすべき役割を認識させる。

○自己の役割を果たすことによって自己有用感を高める。



人と「**かかわる**」



よりよい生き方を「**もとめる**」



社会での役割を「**はたす**」



みやぎの志教育プラン

# III 本県の基本計画

## (2) 主な取組

### ① 志教育

- 小学校・中学校

- 志教育支援事業(平成23年度～)

- i 志教育推進地区の指定(小・中・高・特別支援の枠組みで指定)

	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
指定地区数	3地区	8地区	7地区	7地区	6地区

- ii 「みやぎの先人集 未来への架け橋」の発行

- ・ 子どもたちが道徳の時間などに読んで、先人の生き方に学んで欲しいと願い、江戸時代や明治時代に活躍した宮城県にゆかりのある人たちの生き方をまとめたもの。

- 高等学校

- 魅力ある県立高校づくり支援事業(平成22年度～)

- ・ 地域に貢献する人材の育成につながる魅力ある学校づくりへの支援

	H22年度	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
指定校数	20校	13校	15校	21校	18校	22校



みやぎの先人集 未来への架け橋

# III 本県の基本計画

## (2) 主な取組

### ② 幼児教育(学ぶ土台づくり)

- ・ 幼児期を、「学ぶ土台づくり」の時期として捉え、幼児教育を推進していくための指針として「学ぶ土台づくり」推進計画を策定

第2期「学ぶ土台づくり」推進計画(平成27年度～平成29年度)(平成27年3月策定)

<目指す子どもの姿>

「元気いっぱい、夢いっぱい、瞳かがやく“みやぎっ子”」

目標1:親子間の愛着形成の推進

目標2:基本的生活習慣の確立

目標3:豊かな体験活動による学びの促進

目標4:幼児教育の充実のための環境づくり



第2期「学ぶ土台づくり」推進計画



# III 本県の基本計画

## (2) 主な取組

### ③ 学力向上に向けた取組

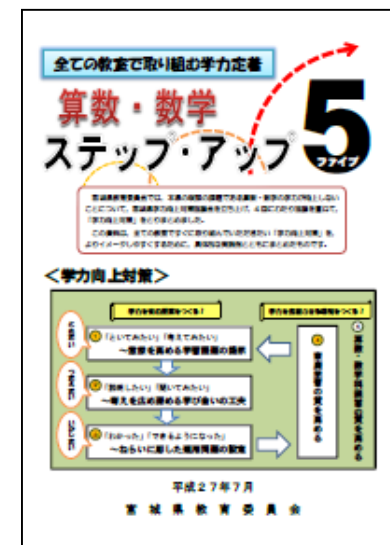
#### i 宮城県学力・学習状況調査の実施

- ・ 全国調査と連動させた検証改善サイクルの構築を図るため、県独自の調査を平成26年度から実施

#### ii 「学力向上に向けた5つの提言」の徹底

##### 学力向上に向けた5つの提言(平成25年10月)

- (1) どの子供にも積極的に声掛けをするとともに、子供の声に耳を傾けること。
- (2) 子供をほめること、認めること。
- (3) 授業のねらいを明確にするとともに、授業の終末に適用問題や小テスト、授業感想を書く時間を位置付けること。
- (4) 自分の考えをノートにしっかり書かせること。
- (5) 家庭学習の時間を確保すること。



算数・数学ステップ・アップ5

#### iii 宮城県学力向上対策協議会の開催

- ・ 算数・数学の学力向上に向け、教育施策の在り方や効果的な指導法等について協議し、実効性ある対応方策を取りまとめるため、宮城県学力向上対策協議会を開催(平成27年2月～)  
⇒ 「算数・数学ステップ・アップ5」の取りまとめ、「算数チャレンジ大会2015」の実施

# III 本県の基本計画

## (2) 主な取組

### ④ 子どもたちの心のケア、いじめ・不登校への対応

#### ▶ 子どもたちの心のケア

##### i スクールカウンセラー(SC)の配置・派遣

- ・ 小学校 … 全市町村(仙台市除く)にスクールカウンセラーを配置し、小学校へ派遣
- ・ 中学校 … 全公立中学校(仙台市除く)139校にスクールカウンセラーを配置
- ・ 県立学校 … 全県立高校73校, 特別支援学校3校にスクールカウンセラーを配置

##### ii スクールソーシャルワーカー(SSW)の配置

- ・ 児童生徒が置かれた生活環境(家庭等)に着目し, 関係機関と連携しながら, その環境改善を支援するスクールソーシャルワーカーを配置
- ・ 公立小・中 … 延べ40人・22市町
- ・ 県立高校 … 8人・16校

##### iii 外部人材を活用した心のケア

- ・ 学級や学年単位を対象に, 希望する学校に対して外部人材(セラピスト, 精神科医等)を活用した心のケア療法(読み聞かせ, 音楽療法等)を実施

##### iv 心の復興支援プログラム推進事業

- ・ 児童生徒の心の復興を図るため, 仲間と信頼し協力して課題を解決するMAP(みやぎアドベンチャープログラム)の手法を取り入れた集団活動を実施(実践指定校(H27):2校)

# III 本県の基本計画

## (2) 主な取組

### ④ 子どもたちの心のケア、いじめ・不登校への対応

#### ➤ いじめ・不登校への対応

##### i 「宮城県いじめ防止基本方針」の策定

- ・ 本県におけるいじめ防止等のための対策を総合的かつ効果的に推進するため、平成25年12月に「**宮城県いじめ防止基本方針**」を策定

##### ii 「みやぎ小学生いじめ問題を考えるフォーラム」の開催

- ・ いじめ問題について、小学生が学校の枠を超えて話し合い、その根絶のために自分たちができることを考える「**みやぎ小学生いじめ問題を考えるフォーラム**」を開催(平成24年度～)
- ・ いじめ根絶に向けた「知事メッセージ」、「教育委員会メッセージ」を発表(平成27年8月)

##### iii 「不登校児童生徒の追跡調査」の実施

- ・ 今後の不登校対策の参考とするため、不登校児童生徒に対する学校の取組や対応等について、県の独自調査を実施(平成25年度～)

##### iv 「中1不登校の解消に向けて」リーフレットの作成

- ・ 学校教育に携わる全ての関係者が、中1不登校への認識を深め、学校がチームとして魅力ある学校づくりに取り組むため、「**中1不登校の解消に向けて**」リーフレットを作成(平成27年3月)



全ての児童生徒が「行きたくなる学校づくり」の推進

「中1不登校の解消に向けて」  
リーフレット

# III 本県の基本計画

## (2) 主な取組

### ⑤ 防災教育

#### ➤ 自らの命を守る教育

##### i 「防災主任」及び「防災担当主幹教諭」の配置

- ・ 全国初の取組として、県内全ての公立学校に「防災主任」を配置するとともに、市町村などの防災機関との連携強化を図るため、地域の拠点となる学校に「防災担当主幹教諭」を配置している。(防災主任, 防災担当主幹教諭: 725人)

##### ii みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」の制作・配布

- ・ 震災を経験した子どもたちが、将来、どのような災害にあっても、自分の命を守り、共に助け合い、生き抜いていくことができるように、**みやぎ防災教育副読本「未来へのきずな」**を制作

#### ➤ 他者の命や暮らしやなりわいを守る人材を育成していく教育

##### iii 宮城県多賀城高等学校 災害科学科の設置

- ・ 社会の様々な分野で、防災・減災の立場からリーダーシップを果たせる人材を育成するため、宮城県多賀城高等学校に全国2例目となる防災系専門学科を設置することとし、平成28年度の開設に向けて準備を進めている。



みやぎ防災教育副読本  
「未来へのきずな」